財団法人 日本ハンドボール協会編　平成21年10月1日発行(毎月1回1日発行)　通巻504号　昭和40年6月7日第3種郵便物認可

ハンドボール

特集
第60回全日本高校選手権大会
第22回全国小学生大会
第14回ジャパンオープントーナメント

10
OCT.2009・No.504

[表紙写真：全国高校選手権大会女子優勝の四天王寺高校・水田選手：写真提供・スポーツイベント社]

財団法人 日本ハンドボール協会
http://www.handball.jp/

We can change！ 競技

（財）日本ハンドボール協会常務理事（競技本部長） 江成 元伸

オバマ・アメリカ大統領の言葉を借りれば、日本ハンドボール界は今、「We can change！日本ハンドボール」と変わらなければなりません。キング牧師が「私には夢がある」と演説してから45年、大統領選挙を通じ訴え、「Yes, We can change！」のスローガンの元、その夢を実現させました。しかし、日本ハンドボール界にとっては「夢がある」は現実の課題です。オリンピックへの出場、世界で上位のポジションを獲得することは決して夢ではなく、現実のものにしなければならないのです。そのための「We can change！日本ハンドボール」です。同様に、日本ハンドボール界の「We can change！」は、日本ハンドボール各組織の変化です。競技運営部は競技の円滑な運営を図るために、毎年4月1日付けで各種の通達を出しています。平成21年度は4月の通達に加え、新たな「We can change！競技」の一環として、7月31日付けで「大会開催マニュアル」を協会のホームページに掲載しました。平成15年に、「大会開催マニュアル」を冊子体として発行して以来の改変であります。しかも、従来有料であった情報源を、いつでも、どこでも、誰でもが情報を共有することができ、しかも無料で手にすることができるものであります。今後は追補等を加え、大会開催マニュアルの改訂を行っていきます。ホームページに掲載する方式は冊子体で刊行した発行物と違い、常に最新の情報の共有をした上で各試合に臨めることとなります。

一方、平成21年度の競技運営部は基本方針として、日本選手権（仮称）実施を検討することを表明しました。現在、日本選手権に一番近い大会形式が全日本総合選手権です。しかし、全日本総合選手権は日本リーグ、インカレ、ジャパンオープン、日本協会推薦チームが出場する、いわゆる各カテゴリーチャンピオンズカップです。それを、日本協会の加盟団体である各都道府県協会選手権大会の優勝チームがブロック選手権に出場し、さらにその優勝チームを決める大会が日本選手権（仮称）構想です。勿論、出場できるチームは小・中学校を除く高校、大学、一般、日本リーグのすべてのチームとし、文字通りの日本一を決める大会として設定します。サッカーの天皇杯をイメージして頂ければ良いかと思います。数年前にこの構想を提示しましたが、過密な大会スケジュール、競技運営の過重負担を理由に構想は実現しませんでした。しかし、ハンドボール界にあっての球界の活性化とは、大会数を増やすことであり、試合数を増やすことであると考えます。是非、都道府県協会の代表チームが日本一の栄冠を目指すこの大会の設置構想をご理解頂き、早急に実現させていきたいと思っています。

また、一般クラブと呼ばれるチームにとって、所属する団体は各都道府県協会だけです。その方式を、高校、大学、実連チームが都道府県協会と各連盟に所属するように、各クラブチームも各都道府県協会に所属し、さらに社会人連盟（仮称）に所属します。小学生、中学生、高体連に所属する高校生、高専体協に所属する高専生、学連に所属する大学生、そして日本リーグを除いた選手、チームはすべて社会人連盟（仮称）に所属するということです。従来のクラブチームを束ねている組織がある都道府県はそのまま社会人連盟と名称変更して頂き、組織化されていない都道府県については新設して頂き、リーグ戦を中心に競技を編成します。その各都道府県の優勝チームが現在開催されているジャパンオープン、クラブ選手権に出場するプレーオフ方式をとることで、年間の試合数の増加を狙っていきたいと考えます。この試合数の増加は選手、チームの強化にもつながり、また愛好者のさらなる楽しみをも増加させるものと考えます。

今後、全国の皆様方のご意見を賜りながら、国体開催時の全国理事長会議、全国理事会、全国評議員会に諮り、年度内の組織化実現に向けて計画し、数年後の完成年度に向けて体制づくりを進めていく所存ですので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

高松宮記念杯 # 第60回全日本高等学校選手権大会

平成21年度全国高等学校総合体育大会

写真提供：（2点とも）プロフォートサニー

男子：興南高等学校（沖縄県）が3年ぶり4度目の優勝
女子：四天王寺高等学校（大阪府）が13年ぶり2度目の優勝

■男子　優　勝　興南高等学校（沖縄県）※3年ぶり4度目
　　　　準優勝　北陸高等学校（福井県）
　　　　第3位　愛知高等学校（愛知県）
　　　　　　　　祐誠高等学校（福岡県）

■女子　優　勝　四天王寺高等学校（大阪府）※13年ぶり2度目
　　　　準優勝　名古屋経済大学市邨高等学校（愛知県）
　　　　第3位　京都府立洛北高等学校（京都府）
　　　　　　　　夙川学院高等学校（兵庫県）

総　評

京都府高体連ハンドボール専門部委員長　國府　功

2009近畿まほろば総体は、「君が今　歴史の新たなページを創る」のスローガンのもと、7月28日奈良市鴻ノ池陸上競技場で開かれた総合開会式で幕を開けました。

ハンドボール競技は8月1日、京都府京田辺市の同志社女子大学新島記念講堂に全参加校の代表者を集め、（財）全国高体連ハンドボール専門部、河先修委員長の開会宣言により始まりました。

開会式におきましては、（財）全国高体連ハンドボール専門部、塩谷和雄部長のご挨拶に続き、開催地代表の府立田辺高校の男女主将による力強い選手宣誓など出場選手の意気込みが感じられました。

また、開会式終了後には全国高体連ハンドボール専門部創設60周年の記念式典も挙行されました。10回から50回までの出場校表彰やご協力いただいている企業の方々の表彰がなされ、記念すべき大会にふさわしい形で8月7日までの94試合の幕が切って落とされました。

8月2日、京都府宇治市の府立山城総合運動公園体育館（2面）、宇治市立西宇治公園西宇治体育館、同京田辺市の田辺中央体育館、同志社大学デイヴィス記念館（2面）の計4会場6コートで始まった競技は、一回戦の3試合が延長戦に突入するなど、初日から熱戦が続き、最後までどちらが勝つか予断を許さない試合が多く見られました。

男子は、選抜大会の覇者の北陸（福井県）、祐誠（福岡県）、愛知（愛知県）、選抜準優勝の興南（沖縄県）がベスト4に勝ち上がりましたが、準決勝を無難な形で勝ち上がった北陸と興南が選抜の決勝戦と同じ組み合わせで頂上決戦に挑みました。興南は、開始早々に6番又吉選手の豪快なカットインシュートや速攻、7番山田選手のミドルやロングシュートなど多彩な攻めと、北陸の早いパス回しを遮断する高いデフェンスなどで終始優位に試合を進め、栄冠を勝ち取りました。

北陸も13番の藤江選手の活躍により得点をあげるものの興南のそれにはかなわず、春・夏連覇の夢は消え去りました。

上位入賞こそかなわなかったもののスピードとテクニックを駆使した各チーム、選手のレベルは年々向上の傾向にあり、後の代表選手に名を連ねることも時間の問題と思われた大会でもありました。

女子は、選抜ベスト4の名経大市邨（愛知県）四天王寺（大阪府）、洛北（京都府）の3チームが順当に勝ち進んで準決勝に駒を進め、ノーシードながら勝ち進んだ夙川学院（兵庫県）を加えた4チームで栄冠を競い合いました。名経大市邨と夙川の準決勝は後半半ばまで1点を争うシーソーゲームとなりましたが、自力に勝る名経大市邨が得意のコンビプレーで勝利を収めました。四天王寺対洛北の準決勝も互角の戦いで好ゲームが展開されましたが、四天王寺は攻守にわたる活

写真提供：（左、中の2点）スポーツイベント社

写真提供：（右）プロフォトサニー

躍を見せた19番角南（唯）のプレーなどで着々と追加点を奪いました。洛北もそれに負けじと9番角南（涼）が打ち合う中、姉妹対決を制した四天王寺に軍配が上がりました。

そして最終日、男子同様に春夏を制したい名経大市邨と前日の勝利の喜びを微塵にも見せない四天王寺の決勝戦は終始四天王寺がリードを奪い、完勝に近い形で勝利しました。

洛北の5連覇か？　名経大市邨の春夏連続優勝か？　虎視眈々と優勝を狙う四天王寺か？　と話題の多かった女子のゲームも連日熱戦が展開され、見る者の興味をそそる大会でもありました。男子の興南（沖縄）、女子の四天王寺（大阪）の選手、役員の皆さん本当におめでとうございました。

今大会は、京都府宇治市・京田辺市での開催でしたが、宿泊施設の諸事情により配宿が全て京都市となり、競技会場への移動に長い時間を要したり、充分な駐車場を準備できなかったため中型以上のバスでの来場をお断りしたり、また、空調設備の不十分な会場があったりと、多くのチーム関係者や応援の方々に多大なご不便やご迷惑をお掛けしたことを心よりお詫び申し上げます。おかげを持ちまして大会7日間、心配された新型インフルエンザの感染や大きな混乱もなく、無事終了することができました。これもひとえに本大会を支えていただきました（財）日本ハンドボール協会、（財）全国高体連ハンドボール専門部、宇治市、京田辺市、京都府実行委員会及び多くの大会役員・補助員・選手・監督・保護者・ハンドボール関係者の皆様のお力と、心より感謝申し上げます。

最後になりますが、来年の全国高校総体（美ら島沖縄総体2010）は沖縄県浦添市・八重瀬町で開催されます。男子の興南高校が地元での2連覇を狙うなど話題も多く、今年以上に熱い戦いが繰り広げられることを期待して総評といたします。

男子優勝チームの声　興南高等学校（沖縄県）

感謝

興南高等学校ハンドボール部監督　黒島　宣昭

平成21年8月1日から7日まで、京都府の宇治市、京田辺市で開催されました高校生にとって最大のスポーツの祭典である全国高等学校総合体育大会、高松宮記念杯第60回全日本高等学校ハンドボール選手権大会において、3年ぶり4回目の優勝をすることができ、大変に嬉しく思います。3月の全国選抜大会決勝での敗戦から「全国総体でのリベンジ」を目標として頑張ってきました。あの敗戦は、私自身はもちろん、選手達にも、大きな刺激になりましたし、チーム戦力を改めて見直すことが出来たことが良い結果に繋がったと思います。

振り返れば、7月2日に組み合わせが決まり、かなり厳しい戦いになるのではないかと予想をしていました。案の定、2回戦・3回戦では、選抜大会でも対戦し苦戦をした札幌真栄（北海道）と富岡（群馬）との戦いで、粘り強いチームであり、最後まで気の抜けない試合展開でありました。4回戦の瓊浦（長崎）は、九州大会でも対戦していて互いに戦術を知っていることで苦戦をしました。準決勝の愛知（愛知）は、大型GKに、スピード・パワーのある選手が多く得点力の高い怖いチームでありました。しかしながら、ディフェンスが上手く機能しての守り勝ちであったと思います。さて決勝ですが、全国選抜での顔合わせで北陸（福井）との対戦。「春のリベンジ」に選手が燃えていました。ミーティングでは「ディフェンスでしっかり守ること」を強調して「楽しくプレイをしてこい」と送り出しました。最高の舞台で、最高のプレイ、最高のゲームができましたし、選手14人全員がコートに立つことができたことに大変に嬉しく思いました。今大会での大きな勝因は、チームの「和」、ディフェンスの「集中力」であったと思います。

最後になりますが、小学校・中学校の指導者の方々が、手塩に賭けて育ててくれた素晴らしい選手達にめぐり逢えたことに、とても感謝しています。県ハンドボール協会はもちろん、学校関係者、さらに父母会や後援会・ＯＢ会の力強いサ

ポートがあったからこそ成し得た結果だと思っていますし感謝しています。今後とも「感謝の気持ち」を忘れずに、自惚れず、謙虚な気持ちを忘れずに、これからも日々努力していきたいと思っています。

写真提供：スポーツイベント社

女子優勝チームの声 **四天王寺高等学校**（大阪府）

2009近畿まほろば総体に優勝して

四天王寺高等学校ハンドボール部監督　**繁田 順子**

応援席からのカウントダウンがはっきり聞こえる。5・4・3・2・1。やったあ！　コート上で選手達が喜び抱き合っている。控え選手やOG達もかけ寄り歓喜の渦。ベンチでコーチとガッチリ握手。

2009年8月7日。近畿まほろば総体で優勝させて頂くことができ感謝の気持ちで一杯です。微力な私達がこの様な結果を残せたのも偏に学校関係者、大阪ハンドボール協会及び高体連、中体連の先生方、保護者やOG、そして、誌面では書き切れない程沢山のお世話になった方々のお陰と厚く御礼申し上げます。

大会2週間前。チームは最悪どん底状態。何をしてもうまくいかず、焦るは気ばかり。つのるイライラを抑え選手には多くを求めず防御の強化に徹した。勿論GKも含め何度も基本を繰り返し、確認し大会に臨んだ。大会では出だし緊張で動きもぎこちなくもどかしい思いをしたが、試合を重ねるごとに練習してきたねばり強い守りが見られるようになり、リズムよく攻撃につなぐことができた。準決、決勝とも百戦錬磨の強豪チームではあるが胸を借りるつもりでチャレンジしよう、チーム一丸となって全員ハンドで取り組もう、という気持ちがそのままプレーに表れ結果に繋がった。27名の部員達へ「ありがとう」。

“君が今　歴史の新たなページを創る”のスローガンのもと開催された60回という記念大会に全国のハンドボーラーと共に歴史の新たなページを創ることができ感慨無量です。

しかし、この結果に決しておごることなく更なる努力を重ねてまいります。今後ともご指導の程よろしくお願い申し上げます。

写真提供：スポーツイベント社

戦　評

【男子】

▼準決勝

北陸　37（20-14，17-15）29　祐誠

開始早々、祐誠８番松林の速攻で先取点。北陸も13番藤江の速攻で同点とする。祐誠GK12番川原の好セーブと10番平の速攻・サイドで一進一退の攻防となる。10分過ぎ、北陸の４番杉本の速攻、スカイプレーで優位に進めるが、祐誠も両サイドの得点で粘る。北陸13番藤江のプレーからの連続得点で北陸が６点リードで前半終了。

後半、祐誠の速攻・サイドで10分までに２点差まで追い上げる。その後、一進一退の攻防が続くが、北陸のポスト・サイドシュートを守りきれず、終盤突き放された。祐誠の健闘が光る好ゲームであった。

興南　30（17-７，13-14）21　愛知

立ちあがり愛知が２点を先取するも、すかさず興南が反撃。８点を連取し、一気に流れを引き寄せた。ここから愛知もGK石河の好守と鋭いミドルシュートで挽回を図るが、興南の高い位置でのディフェンスを攻めあぐみ、連続して得点を奪うことができず、点差をつめることができない。一進一退の攻防が続き、17対7で興南がリードして前半を終了した。

後半に入っても愛知は興南ディフェンスを崩すことができず、ドリブルカットからの速攻など興南の速い攻めについていけず得点差を広げられてしまう。興南は最後まで相手に持ち味を出させず、終始自分たちのペースで試合を運んだ。運動量が豊富で積極的なディフェンスが功を奏した興南会心の一戦であった。

▼決勝

興南　43（21-10，22-17）27　北陸

今春の選抜大会と同じ顔合わせになった一戦、共に高い個人技を持った攻撃型のチームだけに激しい点の取り合いを予感させる。

先手を取ったのは興南。嘉数のサイドシュートを皮切りに上里の巧みなステップシュートなどで10分までに７対２と５点をリードする。ここで北陸はタイムアウトを取る。興南の高い位置でのディフェンスに対し、速い動きの攻撃に切り換える。ここから両チームの激しい攻防が繰り広げられる。しかし着実に得点を重ねた興南が21対10と大きくリードして前半を終了する。

後半に入り、北陸は平子を中心に果敢に攻撃に出る。一方興南も山田のミドルなどで応戦、前半にも増して激しい攻め合いとなる。しかしここでも要所で速攻が出た興南に軍配が上がる。更に点差を広げ、43対27で興南が勝利し、春の雪辱を果たした。

点差はついたものの試合を通して攻撃の姿勢を崩さず、すばらしいパフォーマンスを見せてくれた両チームのプレーヤーに拍手を送りたい。

【女子】

▼準決勝

名経大市邨　39（16-16，23-10）26　夙川学院

夙川が開始早々カットインで先制すると、市邨はエース加藤（夕）のフェイントからのシュートで同点とする。その後も加藤（夕）のロング・７mで５対２とし、試合の主導権をつかんだかに見えたが、夙川も一対一、サイドシュートで粘り、14分30秒に８対８の同点に追いついた。その後、両チームゴールキーパーの好セーブや、市邨加藤（夕）・夙川渡辺のロングなどで、見ごたえのある攻防が続き、16対16で前半を終了した。

後半、市邨は加藤（夕）のロング、加藤（瑠）のポストシュートなどで８分15秒には５点リードをする。その後も市邨は多彩な攻めにスピードに乗った速攻を交えて得点を重ね、勝負を決定付けた。

四天王寺　25（14-13，11-８）21　洛北

前半３分からのポストをからめた早い攻めで３点を連取した洛北が一歩抜け出したかに見えたが、四天王寺も角南唯のミドルシュートと村尾の速攻などで10分に同点に追いつく。その後、一進一退の攻防が続くが、16分中山のロングシュートをきっかけに洛北が再び点差を広げる。しかし、四天王寺も粘り強く応戦し、28分に同点とすると、終了直前、鮮やかなコンビプレーが決まり、ついに逆転する。

後半、早く追いつきたい洛北であったが、四天王寺の固い守りに遭い、思うように得点できない。６分に７ｍＴで同点となるが、その後も四天王寺が常にリードする展開となる。18分に一度は洛北が20対20と追いつくが、すかさず四天王寺は３点を連取する。残り時間、洛北も必死の攻撃を行うが、四天王寺GK黒田の好セーブもあり、追いつくことができないままタイムアップのブザーが鳴った。

▼決勝

四天王寺　32（14-９，18-13）22　名経大市邨

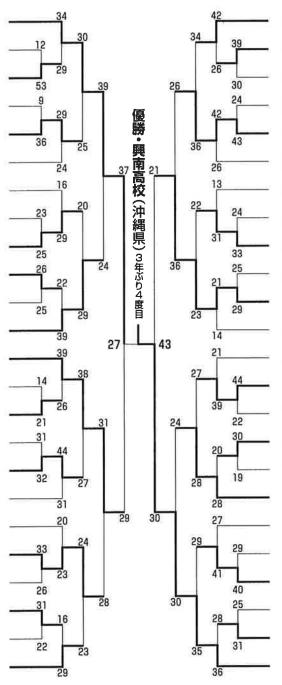
いきなり角南や村尾らの３連続ゴールと気を吐いた四天王寺は、竹下のポストプレーなどで徐々にリズムを掴みたいが、市邨もセンター加藤を中心にした攻撃で反撃に出る。四天王寺のGK黒田と市邨のGK望月の好セーブが目立ち、両チーム共、要所での得点を阻まれ、前半を14対９と四天王寺リードで折り返す。

後半、市邨は藤村、宮地らの速攻で、途中一点差に迫るが四天王寺の前のサイドシュートなどで徐々に点差を広げ、終盤更に加点し、追いすがる市邨を一気に突き放した。

平成21年度全国高等学校総合体育大会

高松宮記念杯　第60回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

男子の部

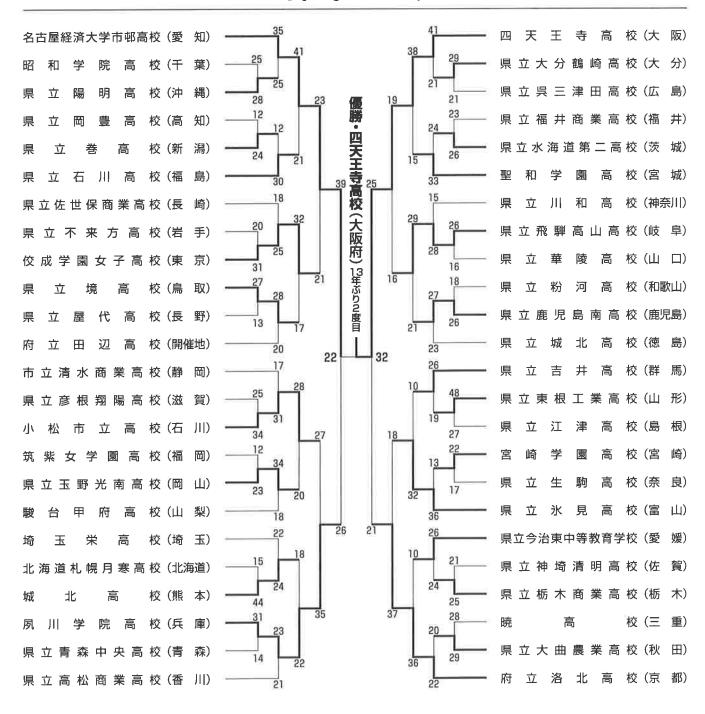
北　陵　高　校（福　井）
土　佐　高　校（高　知）
市立千原台高校（熊　本）
國學院大學栃木高校（栃　木）
県立岩国工業高校（山　口）
県立紀北農芸高校（和歌山）
県立北村山高校（山　形）
県立鹿児島工業高校（鹿児島）
府立田辺高校（開催地）
県立東岡山工業高校（岡　山）
県立岐阜商業高校（岐　阜）
県立藤代紫水高校（茨　城）
祐　誠　高　校（福　岡）
県立四日市工業高校（三　重）
県立金沢泉丘高校（石　川）
県　立　広　高　校（広　島）
明　星　高　校（東　京）
県立青森中央高校（青　森）
県立大分舞鶴高校（大　分）
高岡向陵高校（富　山）
神戸国際大学附属高校（兵　庫）
浦和学院高校（埼　玉）
県立利府高校（宮　城）
県立香川中央高校（香　川）

県立不来方高校（岩　手）
徳島市立高校（徳　島）
佐賀清和高校（佐　賀）
県立彦根東高校（滋　賀）
市　川　高　校（千　葉）
県立境港総合技術高校（鳥　取）
県立柏崎工業高校（新　潟）
県立湯沢高校（秋　田）
桃山学院高校（大　阪）
県立小林工業・小林秀峰高校（宮　崎）
愛　知　高　校（愛　知）
駿台甲府高校（山　梨）
県立長野南高校（長　野）
府立洛北高校（京　都）
学校法人石川高校（福　島）
法政大学第二高校（神奈川）
県立松山東高校（愛　媛）
瓊　浦　高　校（長　崎）
県立清水東高校（静　岡）
県立松江南高校（島　根）
県立富岡高校（群　馬）
市立一条高校（奈　良）
北海道札幌真栄高校（北海道）
興　南　高　校（沖　縄）

平成21年度全国高等学校総合体育大会

高松宮記念杯　第60回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

女子の部

第22回 全国小学生ハンドボール大会

4点とも　写真提供：スポーツイベント社

第22回全国小学生ハンドボール大会は、平成21年7月29日（水）から31日（金）までの3日間、全国から男子31チーム、女子30チームが京都府京田辺市に集い、熱戦を繰り広げました。結果は、男子は下郡ハンドボールスポーツ少年団（大分県）、女子は仏生寺スポーツ少年団（富山県）が優勝を飾りました。

■最終順位

［男子］
優　勝　下郡ハンドボールスポーツ少年団（大分県）
準優勝　木田ブルーロケッツ2000（福井県）
第3位　上庄ハンドボールクラブ（富山県）
第4位　松井ケ丘小学校ハンドボールクラブ（京都府）

［女子］
優　勝　仏生寺スポーツ少年団（富山県）
準優勝　宮城小学校ハンドボールクラブ（沖縄県）
第3位　松井ケ丘小学校ハンドボールクラブ（京都府）
第4位　桃園小学校ハンドボールクラブ（開催地・京都府）

男子優勝：下郡ハンドボールスポーツ少年団（大分県）

2度目の全国優勝に思うこと

下郡ハンドボールスポーツ少年団監督　古谷 裕邦

思えば昨年の県の最終予選。延長1点差で破れて以来、ここまでずいぶん長い道のりだったと思います。3月の卒団式で、一人だけ卒団する6年生に「ごめん、来年は絶対に全国制覇するから」と泣きながら約束する5年生。「あの時こうしていれば…」その思いを胸に子どもたちは練習に励んできました。こうして優勝ができた今、私も子どもも幸せな気持ちで一杯です。

正直に言うと今回は優勝を狙っていました。大会前から「昨年のメンバーが6人残っているし、100％の力を出せば優勝するかも」と思っていました。ただメンタル面の弱さが試合に出ないかが心配でした。案の上、子どもたちは何度も苦しい場面に出会いました。予選から伝統校ばかりの厳しいパートに入ったこと、準々決勝で神森小と追いつ追われつの試合をしたこと、準決勝の上庄クラブとの激戦。どちらの監督さんもすばらしい方で、楽な試合は一つもありませんでした。ただその中で子どもたちは精神的にどんどん強くなっていきました。試合を重ねるごとに自信を持ち、顔つきが変わっていくのがわかりました。決勝戦の木田戦では6年生の1人がケガで出られなかったにもかかわらず、試合中笑顔でプレーする子どももいました。その時私は子どもの「自信」に勝るものはないと強く感じました。そして私たち指導者の役目は「自信」につながる「練習」を積ませることなのだと改めて気づかされました。

大会を通して、私は子どもたちから「ゆるぎない自信の大切さ」を学んだ気がします。前回優勝した時は「あきらめない大切さ」でしたが、今回は自信の持つ凄みを感じました。このことを心に刻み、子どもたちと次のステージに進んでいきたいと思っています。

また、全国大会に先立って行われた日韓交流戦でも貴重な体験をさせていただきました。役員・関係者をはじめ、日本ハンドボール協会の皆さんのご苦労にあらためて感謝申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。

余談ですが、子どもたちはエントリー分でいただいた金メダルを、昨年の卒業生に一つプレゼントしました。昨年出場

写真提供：スポーツイベント社

るなと思っています。

最後に４月から当番に、練習試合に、そして遠征に心を砕いて協力下さった役員さん、保護者のみなさん、熱心に練習に参加して下さった浜田隆行、邦彦、田島コーチ、大分駅まで出迎えに来て下さった大分県ハンドボール協会および各チームのみなさん、大会を支えて下さった京都府ハンドボール協会のみなさんに心から感謝を申し上げます。来年も本大会に参加できるよう、精進して頑張っていきたいと思います。ありがとうございました。

できなかった分の罪滅ぼしと思ったのかどうかはわかりませんが、子どもたちのつながりの深さに感激しました。今後もこんな子どもたちをたくさん育てていければ監督冥利に尽き

女子優勝：仏生寺スポーツ少年団（富山県）

全国小学生ハンドボール大会を振り返って

仏生寺スポーツ少年団女子ハンドボール部監督　西 裕之

昨年、念願の全国制覇を成し遂げ、今年は連覇のかかる大会でした。大きな大会になればなるほど、どれだけ選手自身が試合を知っているかが重要だと思います。幸いにも、今年のチームには、昨年のスターティングメンバーが４人残り、試合経験豊富な選手がいたことが強みでした。試合中の指示も「短く、少なく」を心掛けて戦いました。

予選から準決勝までの四試合では、本来の動きができず、相手に合わせてしまい、本来の動きができなかった試合もありましたが、選手の気持ちを切らさず戦うことができました。

決勝戦の相手は戦前の予想通り、沖縄県代表の宮城小学校でした。運動能力の高い選手が多く、ポストをうまく機能させながら攻めるチームでした。相手のペースにならないように、前半からスピードを上げた攻撃をしました。選手は、昨年の全国大会後から重点的に取り組んできた正確なロングパスと、速いボール回しを十分に発揮してくれました。得点を重ね、８点差で勝利し、２連覇を達成することができました。

仏生寺小学校は全校児童が30名の小規模校です。限られた選手で試合に臨むのは確かにデメリットですが、チームプレーにとって必要不可欠な選手間の信頼関係が、学校生活で深く築かれるというメリットがあります。毎日の放課後練習でも、ミスがある度に、選手同士が話をしながら進めていきます。今回の大会で最も象徴的だったことは、スターティングメンバー全員が全試合で得点を決めたということです。練習で磨いた個の技を試合で発揮しながらも、チーム内の仲間のことを考え、声でパスをつなぐことの大切さを理解できるチームに成長できたことにうれしさを感じます。

今後もこの結果におごることなく、さらに心技体を磨いていきたいと思います。最後に、大会運営にあたり、ご尽力いただいた関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

写真提供：スポーツイベント社

第14回
ジャパンオープンハンドボールトーナメント

男子は三重ホンダクラブが２連覇

【最終順位】優　勝：三重ホンダクラブ（三重県）
準優勝：FOG（千葉県）
３　位：B.I.C（沖縄県）
４　位：トヨタ自動車（愛知県）

女子は香川銀行Ｔ・Ｈが３連覇

【最終順位】優　勝：香川銀行Ｔ・Ｈ（香川県）
準優勝：HC.TSUKUBA（茨城県）
３　位：HC 高山（岐阜県）
４　位：京都クラブ（京都府）

第14回ジャパンオープントーナメントの大会を振り返って

ゆめ半島千葉国体市川市実行委員会　小島　信也

今大会は、来年開催の「第65回国民体育大会」ゆめ半島千葉国体に向けてのリハーサル大会として開催いたしました。

男子の部は、市川市の国府台、塩浜の市民体育館、市川学園古賀記念体育館の３会場で、女子の部は香取市の香取市民体育館、県立佐原白楊高校体育館の２会場でそれぞれ行いました。

大会期間中は、台風の接近や地震等があり大会開催が心配されましたが、日本協会、千葉県協会、大会運営ボランティアの皆さまのご協力により、盛況のうちに大会を終了することができました。厚く御礼申し上げます。

さて、男子の部につきましては市川市におきまして、厳しい予選を勝ち抜いた32チームが熱い戦いを繰り広げました。女子の部は、香取市におきまして16チームが参加し開催いたしました。選手の皆さまには果敢な戦いぶりを見せていただき、着々とハンドボール競技に興味をもつ方が増え、大会終了後からは、今まで以上に実行委員会へ市民の皆さまから、大会開催日程等の問い合わせが多くなりました。これも、今大会を開催し、市民にハンドボール競技が浸透し始めたものと感じます。

実行委員会では、今回の大会ホストといたしまして、スタンド観戦運動、花いっぱい運動、環境美化活動に重点をおき、選手・役員・関係者の皆さまのおもてなしをしようと心がけました。特に花いっぱい運動では、市川市内の小中学校へ一クラス一鉢を配布し、種から心をこめて育て、その鉢を会場に飾り選手等をお迎えしました。

また、大会運営ボランティアの皆さまには、受付案内や、ドリンクサービス等を担当していただき、皆さまをお迎えしました。初めてのことで、緊張感からうまくいかない場面も多々ありましたが、選手・監督等の皆さまから、あたたかいお言葉をかけていただき、何とか乗り切ることができました。この経験が来年開催する、ゆめ半島千葉国体ハンドボール競技開催に向け繋がっていければと期待しています。

さて、男子の部の大会では、連覇を狙う「三重ホンダクラブ」に対し、昨年準優勝「FOG」がリベンジを果たすべく、同じカードの決勝戦になりました。

試合開始より一進一退の展開となり、「三重ホンダクラブ」は「FOG」の３－２－１ディフェンスに苦しみつつ、一時リードを許したものの、リードを保ちゲームを押し切り、「三重ホンダクラブ」が優勝しました。

「FOG」は「三重ホンダクラブ」の大型選手に果敢に攻め込み、楽な攻めを許さず、最後まで諦めない姿勢は、ファイナルゲームにふさわしい好試合でした。

３位決定戦では、「B.I.C」が伸び伸びとした多彩な攻撃で主導権を握り、「トヨタ自動車」を振りきりました。

女子の部では、香川銀行Ｔ・ＨがHC.TSUKUBAを下し３連覇を成し遂げました。また、３位決定戦では、汗と湿気でコートがすべり、試合が一時中断いたしましたが、選手及び関係者の皆さまのご協力によりプレーを再開することができました。試合は、HC高山が京都クラブを下しました。

市川市では、来年開催の「ゆめ半島千葉国体ハンドボール競技」開催に向け、市民体育館の床、壁改修や、エレベータ設置工事、バリアフリー化等を行うなど、万全な体勢を整え、全国から訪れる皆さまをお迎すべく準備を進めております。

運営面では、今回開催いたしました、第14回ジャパンオープンハンドボールトーナメントでいただいた、ご意見等を生かしながら、来年の開催に向け準備をしてまいります。

今回ご参加いただいた参加チームの皆さまをはじめ、日本協会、千葉県協会関係者、大会役員、競技役員、大会運営ボランティアの皆さまに感謝申し上げるとともに、来年開催する、「ゆめ半島千葉国体ハンドボール競技会」へのお越しを心よりお待ち申し上げております。

●●●優勝チームのコメント●●●

男子：三重ホンダクラブ　加藤 圭介

8月8日～11日に千葉県で行われた『第14回ジャパンオープントーナメント大会』男子の部に出場し昨年に続き今年も優勝する事が出来ました。

三重ホンダクラブは、実業団のホンダOBが主体となるチームで選手は元日本代表や実業団で活躍してきた選手が大半をしめます。しかし、OBになってからはなかなか体を動かすタイミングも減少し、チーム平均年齢も36才と上がる中での大会出場で各個人がどれだけのパフォーマンスできるか不安を抱く一方、日本リーグで共に戦ってきた仲間とまた一緒にプレーできるという楽しみを持って臨んだ大会となりました。

チームとして練習を充分に行う事なく挑んだ大会にはなりましたが、選手間で言葉を掛け合いやゲーム中にコミュニケーションをはかりながら徐々にコンセンサスを取り戻していきました。ディフェンス面ではいかに相手の攻撃に対して確率の悪いシュートを打たせ、GKとの連携で阻止するかに徹し、またオフェンス面ではいかに確率のいいシュートまで持ち込めるような攻撃をするかを徹底して戦ってきました。こういった事がゲーム中に少ない言葉でお互い理解しあえるのも、いかにこれまで蓄積された練習と経験がどれだけ有意義なものだったのか感じています。

そしてこれまで共に励ましあい頑張ってきた仲間達とこうしてまた勝つ喜びを共感できた事が本当に嬉しいですね。

また、大会期間中には本当に沢山の方々に声をかけて頂きありがとうございました。この後に続く大会でも、皆さんに期待されるチームであり続けられるように頑張っていきますで、今後も応援宜しくお願い致します。

最後になりましたが今大会を開催運営して頂くにあたり、多くの皆さんのご苦労とご協力に深く感謝致します。

女子：香川銀行　主将　北村 恭子

最低でも優勝、最高でも優勝を目標として、必ず3連覇するという強い気持ちで大会に臨みました。

参加チームが国体などの強化によりレベルも上がっている中で、相手がどんなことをしてきたとしても自分たちの"DFからの速攻"を徹底することを約束して試合をしていきました。初戦は沖縄県のシーコルズ、2回戦は青森県の野辺地クラブ、準決勝は岐阜県のHC高山、決勝はHC.TSUKUBAと対戦して、どの試合も10点以上の得点差で勝利しましたが、まだゲームの中で徹底できていない部分があり、課題も残りました。この課題を次の国民体育大会や全日本総合選手権大会に繋げ、上位を目指していきたいと思います。

この大会、チームの目標である優勝と同時に3連覇を達成することができたのも、香川銀行の理解や支援があり、ハンドボール協会各位のバックアップなどにより成し得た事だと思っています。また、日頃からチームハンドを応援してくださっているOGの方々や両親、銀行の方々には心より感謝しています。

私たちは本当に多くの方々に支えられて優勝することができました。これからも結果を出すことで感謝の気持ちを返していけるようチーム一同、日々努力し続けていきます。

写真提供：スポーツイベント社

第17回 全日本マスターズ大会

■第17回　7人制マスターズハンドボール豊田大会

［男子順位決定型］		［女子順位決定型］	
優　勝	AZZURRO	優　勝	富山エンジェルス
準優勝	NISSHIN	準優勝	風見鶏ファミリー
第3位	オールドフェイス	第3位	小松クラブ

■第6回11人制ハンドボール豊田大会

優　勝　中部ドリームズ・HC名古屋ATF(B)
準優勝　神楽坂フェニックス
第3位　東京柿の木坂クラブ
第3位　HC名古屋ATF(A)

第17回全日本マスターズ大会報告

第17回全日本マスターズ大会は7月31日（金）～8月2日（日）愛知・豊田市において、11人制7チーム、男子交流型40、順位決定型10チーム、女子交流型12、順位決定型8チームの参加で開催されました。

この大会の大きな特徴である懇親会を会場の都合で31日（金）の開会式に引き続いて250名の参加で行いましたが、仕事等の都合で参加出来なかった方々には申し訳なく思っています。そのため第1日目のゲームを19：00まで余裕を持って組むことが出来ました。大会中のもう一つの大切なイベント「子どもタイム」には、今年は「ちびっこ＆Over60一緒にハンドボールしよっ！」と60歳以上の参加者との交流も企画し好評を得ました。

第17回全日本マスターズ大会参戦記（谷口賢次：大阪）

■第1日目（11人制ハンドボール）

岩手の大会で初めて参加させていただいてから、これで4度目の参加になる。相変わらず先輩諸氏のパワーには圧倒され通しであった。私（57才）より一回り以上の先輩が元気に走り回られる姿に接すると、ますます元気を頂ける気がしてくる。我々7人制の世代は、2m×3mのゴールの枠が体に染み込んでいるため一生懸命にシュートをしても、キーパーの近くにボールが行ってしまい、簡単に止められてしまう。後半になってやっとシュートらしくなり、胸をなで下ろした。それにしても先輩諸氏のスピードを上手に殺した？きっちりと四隅をつくシュートには脱帽である。

■第1日目夜「懇親会」

あちこちに懐かしい顔があり話も弾む。今年はハンドボールを応援する議員連盟も設立され今後ますますの発展が期待できそうである。料理も十分、腹一杯でホテルに帰る。

■第2、3日目（7人制ハンドボール交流型）

チーム平均年齢でグループ分けされたもの同士のリーグ戦であった。金パンツは55歳以上と分かってはいるものの、

何となくはくのをためらってしまった。

初戦から緊迫したゲーム展開で、気の抜けるところはない。いろんな人のすばらしいプレーを体感させていただいて、まだまだ自分のプレーを研究したいという思いを強くする２日間であった。

また、どの会場へ行っても役員がきっちりとしており、スカイホールの準備の高校生・大学生・高専生の協力や、年齢はマスターズに出場出来る 40 歳に満たない一般の人たちの協力もあり、これからのマスターズ大会の発展を予感させる大会であった。

第17回全日本マスターズ大会のボランティアスタッフとして（岡本　篤）

第 17 回全日本マスターズハンドボール豊田大会のボランティアスタッフになった経緯は、私が参加しているＨＣ名古屋ハンドボールスクール、クラブリーグやその他ハンドボールに関することで、マスターズの方々にはいつもお世話になっており、大会の運営に少しでも力になれればと思いスタッフを引き受けました。

そして任された仕事が、西部体育館の会場責任者という大役であることを知り、もっと気楽にやれると思って引き受けた思いが吹き飛びました。元々、私自身が、人に指示して動かすことは苦手だったので、自分の役割や進行等を事前に何度か打ち合わせをしたものの、当日にこなし切れるのか心配でした。

大会当日、コート設営等を学生ボランティアがきっちり準備してくれたおかげで、第一試合が始まるギリギリまでバタバタしましたが、なんとか予定通り進行できる状態にできました。

そして、競技が始まると私が事前に思っていたことは杞憂に終わりました。当初、対戦する各クラブチームや、審判を担当するオフィシャルチームの集まりが悪いのではと思っており、試合と試合の合間が短い為、事前に各チームの呼び出し案内の放送を流すことを考えていました。しかし実際はどの試合でも、それぞれ各チームがきっちり集合して試合が行われたので、西部体育館では試合に関しての放送を流したことは、２日間通して一度もありませんでした。

最終日に至っては、最終試合後の会場撤収作業を我々スタッフが行う予定でしたが、最終試合を終えた各チームが進んで撤収作業を手伝っていただき、大変助かりました。

試合では、順位決定型・交流型のどちらも真剣勝負で当たりも強く、年齢を感じさせない動きをしていました。各チーム常日頃から練習をしているように見え、みなさん本当にハンドボールが好きなんだなと感じました。その状況を２日間ずっと見ているだけだったので、私を含め他のスタッフもハンドボールがやりたくてしかたなかったです。

最後に、他のスタッフや学生スタッフ、撤収作業を手伝っていただいたチーム、タイムスケジュール通りに動いた各チーム、そして西部体育館の関係者、競技の合間をぬって気を使って連絡いただいたり、手伝っていただいたＨＣ名古屋マスターズの方々の協力が無ければ、自分の役は成り立たなかったと思っています。皆さん、本当にありがとうございました。

文責・大会委員長　角　紘昭

2010年 男子ユースオリンピックアジア予選

［最終結果］
1位　韓国
2位　日本
3位　サウジアラビア
4位　UAE

本大会の第1位が、アジア連盟より、2010年ユースオリンピック（開催地：シンガポール）の推薦を受けることができる。

監督の声

ユースオリンピックアジア予選を終えて

男子ユース監督　滝川一徳

6月27日から7月2日までの最終強化合宿を充実した内容で、怪我人なく終えることができ、チームコンディションは最高の状態で開催国である韓国（ソウル）に入ることができました。韓国へは羽田から2時間の移動で、そして宿泊場所のホテル、食事等も問題なく安心して大会にのぞめました。

日本は予選リーグA組に入りUAE、中華台北、カタールの国々との対戦となり、特に初戦のUAE戦にすべてのエネルギーを注ぐつもりで臨みました。中東特有の力任せの1：1からのプレーが多く、押し込まれることも何度かありましたが、3度にわたる国内合宿での体力強化、コンタクトとアタックに主眼をおいた3・2・1DFの成果があらわれ、大きい相手（レフトバックは2m、100kg）にひるむことなく立ち向かい勝利することができました。その後、中華台北、カタールと勝利し予選リーグ1位でセミファイナルに進出しました。セミファイナルの相手はサウジアラビアで、大型ポスト（1m95cm、105kg）を中心とするチームでした。日本も積極的なDFで果敢に守りましたが、最後にエリア内のポストに放り込まれての失点が多く、常にリードされる展開でした。しかし日本も辛抱強くDFからの速攻とクイックスタートで逆転し、残り2分2点リードしました。微妙な判定も重なり、延長戦へと持ち込まれましたが、チーム全員で団結し、気持ちを切り替え勝利し、初の決勝戦に進出することができました。

決勝の相手は予選リーグ、そしてセミファイナルと全て圧勝して勝ち上がった地元韓国との対戦です。地元メディア、サポーターで完全アウェイの状況で試合が始まりました。開始早々は変則DFで相手のミスを誘発し2点を連取しましたが、地力に優る韓国に確実に点数を重ねられ前半で11対24と大きく差をつけられました。後半も果敢にチャレンジしましたが、前半の点差がひびき、敗れ2位となりました。30点を取るという目標は達成されたものの、それ以上に失点が多く残念な結果となってしまいました。

しかし今までにない大きな成果も得られたと思います。選手は、少ない合宿のなかでスタッフの要求に対して最善の努力をしてくれました。毎回の練習で、戦術練習に入る前に厳しい体力トレーニングを課し、その上でプレーできなければ中東勢には必ず試合の最後でやられると言い続けたのです。その厳しさに耐え、大会では中東勢のパワー一点張りのプレーに対して身体を張って果敢にコンタクトにいき、スタミナ負けせず、失点してもすぐにクイックスタートで得点を重ね、成果を出してくれました。しかし、最大のライバルである韓国もフィジカルトレーニングを徹底しており、「スピード・スタミナ切れ」だけでなく、そこに「大きさ、強さ」が加わっていました。毎回述べていますが、この年代でアジア大会を突破し世界へいくためには、年間を通したフィジカルトレーニング（各学校で）を行うことが必要であることを痛感した大会となりました。今回は、今まで苦汁をなめさせられていた中東勢に全勝することができましたが、韓国の選手のように「巧さ、早さ」だけでなく「強さ」を出せるフィジカルレベルにある状況ではありませんでした。継続して身体づくりの重要性を伝えていくことが大切であると確信しました。

最後になりますが、インターハイの直前にもかかわらず選手を派遣していただいた各学校の先生方、すばらしい環境で合宿をさせていただいたNTCのスタッフの方々、また大会直前にお力添えを頂いた大崎電気、明治大、国士舘大の皆様、何度も選手に「代表選手としての心構え」を説いて下さった酒巻代表監督、そして思いきり強化できる環境を与えて下さった西窪強化本部長・松井男子強化部長はじめ日本協会関係の方々に心から感謝申し上げます。結果は2位ですがようやく中東勢にも戦える自信がつき、最大のターゲットである「打倒・韓国」に向けて新たなスタートがきれました。今後ともよろしくお願いいたします。

選手の声

韓国の壁

主将・藤代紫水高校　元木博紀

私は、2010年ユースオリンピック男子アジア予選の代表選手に選ばれ、期待を胸に合宿が始まりました。4泊5日の3回の合宿はとてもハードで不安など感じている余裕はありませんでした。1回目の合宿は基礎体力のトレーニングが中心で、皆の体力は限界まで追い込まれ、最終日には体が一回り大きくなっていました。

2回目の合宿では体が一回り鍛え上げられたこともあり、ボールを使った練習が増え、体力面、技術面の強化練習が中心でした。

そして３回目の合宿は最終確認のため、大崎電気や大学の先輩達の胸を借りて実践的な練習を増やし、チームで声を掛け合うことでチーム力も深まりました。

国内調整を済ませ、一試合ずつ全力で、やるべきことをしっかりやるという気持ちで挑んだ予選は順調に勝ち進み、目標としてきた夢の韓国との決勝戦。しかし結果は惨敗でした。技術面の差、ここぞという時に決めてくる精神力の差、ディフェンスの当たりでのフィジカルの差を確実に感じました。

銀メダル獲得はとても名誉なことですが、負けたことより韓国選手とのあまりの実力の差に落胆し、打倒韓国への思いに心が震えました。

選手の声

アジア予選に行って

浦和学院高校　加藤芳規

４月から月一回で体力作りから練習が始まり、７月に韓国での大会に参加しました。

初戦のUAE戦は、最初はベンチからのスタートで見ていましたが、日本にはないすごさに驚いていました。試合に出て、少しでも役に立ちたいという気持ちがあふれました。自分の中では、精一杯プレーをし、悔いありませんでした。それで、毎試合ベンチからのスタートで、流れを変えるために精一杯自分のプレーでやっていきました。

韓国はやはり驚異のチームでした。前半から点差を離されてしまい、『これが韓国か』と思わされました。負けてしまい準優勝という結果になり、嬉しくも悔しくもありましたが、この結果に満足せず、高校での練習で向上心を持ちながら、来年の大会にでも選抜されるようにし、韓国ともっと良い試合ができるように頑張っていきたいです。

選手の声

アジア予選を振り返って

浦和学院高校　鈴木翔大

私達U-19日本代表チームは、７月４日から行われたユースオリンピックアジア予選大会に出場しました。

予選リーグからの激戦を突破し、１位で決勝トーナメントに進出、準決勝ではサウジアラビアと延長の末、念願の決勝に進むことができました。決勝戦では、韓国の体格とスピードに圧倒され負けてしまいましたが、最後まであきらめないで戦えたので、とてもいい試合ができたと思います。

今回の大会では国際大会の雰囲気や他のチームの体格やスピードを体験することができました。また、日本を代表するという意識を持つことができたので、チーム一人一人が成長したと思います。

これからは、日本代表という覚悟と責任を持って一日一日練習したいと思います。

■選手名簿

役　職	氏名	所属先
団　長	志々場　修二	(財)日本ハンドボール協会
ヘッドコーチ	滝川　一徳	(財)日本ハンドボール協会
コーチ	阿部　直人	(財)日本ハンドボール協会
コーチ	岩本　明	(財)日本ハンドボール協会
トレーナー	飯田　純一郎	(財)日本ハンドボール協会

No		氏名	所属先
1	GK	加藤　芳規	浦和学院高校
2	CP	元木　博紀	藤代紫水高校
3	CP	村田　知紀	不来方高校
4	CP	堤　由貴	洛北高校
5	CP	森田　啓亮	不来方高校
6	CP	柳　雄大	愛知高校
7	CP	平子　健人	北陸高校
8	CP	久保　二千笑	岩国工業高校
9	GK	佐々木　亮輔	不来方高校
10	CP	谷之木　陵	小林工業高校
11	CP	玉城　慶也	興南高校
12	CP	上野　真悟	氷見高校
13	CP	杉本　翔	北陸高校
14	CP	鈴木　翔大	浦和学院高校
15	CP	佐藤　功一	大分雄城台高校
16	GK	野田　航平	小林工業高校

戦　評

◆7/4（土）予選リーグ（Aグループ）

日　本　38（18-11, 20-16）27　UAE

開始30秒、久保の７mスローで先取点を取った日本は流れに乗り、堤、玉城の速攻で加点。ディフェンスでは高いラインの３－２－１ディフェンスで激しくコンタクトしUAEのミスを誘い、15分で９対４とリードする。UAEも少しずつ落ち着きをとり戻し、力強い１：１で攻めるが、日本は失点後のクイックスタートでも加点し、前半18対11と７点リードで折り返す。

後半に入ると、GK加藤の７mスローを３本止める好セーブで勢いにのり、さらに鈴木のサイドシュート、元木のミドルシュート、谷之木の速攻で加点し、38対27と初戦を快勝で終えた。

【得点者】久保8，元木・谷之木6，堤・平子・鈴木5，玉城3

◆7/6（月）予選リーグ（Aグループ）

日　本　33（18-15, 15-12）27　チャイニーズタイペイ

日本は３－２－１ディフェンス、タイペイは高い３－３ディフェンスでゲームがスタート。日本は開始15秒、玉城のインターセプトからの速攻で先制。その後も元木、鈴木のミドルシュート、GK佐々木の好セーブで15分で12対４とリードする。しかしタイペイの１：１からのカットイン、日本のミスからの速攻等で追い上げられ、前半を18対15で折り返す。

後半に入ると３－３ディフェンスに対して攻めあぐむケースが多くなるが、元木の速攻やブラインドシュート等でリードを維持する。タイペイも粘り強く１：１からのスピードあるカットインで攻撃してくるが、日本・堤のコンタクトディフェンスが功を奏し、失点を最低限におさえる。残り10

分、杉本、平子の連続速攻で29対21とし、さらに上野のドリブルからの突破で得点を決め、33対27で勝利を収めた。前半・佐々木、後半・加藤の両GKの好セーブがチームの流れを変えた。

【得点者】元木12，久保6，鈴木4，堤・玉城・谷之木・平子・杉本2，上野1

◆7/8（水）予選リーグ（Aグループ）

日　本　33（19-14, 14-8）22　カタール

開始30秒、センターからステップシュートで今大会初の先取点を許すも、日本の素早いクイックスタートで元木がミドルシュートを決め1対1とする。その後日本は谷之木のミドルシュート、堤の速攻、久保のカットイン等で着実に加点し、10分・6対3とリードする。しかしここから足が止まり、ミスからの速攻等で連続6失点、16分・6対9となり、ここでタイムアウトをとって修正を図った。タイムアウト後、落ち着きを取り戻した日本は玉城、久保、元木の速攻で一気に逆転し、前半19対14で折り返した。

後半に入っても流れを継続し、久保・平子らの速攻で4連取し、23対14として試合を決定づけた。ベンチ入りした選手が全員コートに立ち、最後は上野の2連続7mスロー、杉本のサイドシュート、GK野田の好セーブで締めくくり、予選リーグを全勝、1位通過を決めた。

【得点者】元木7，久保6，堤・谷之木5，玉城3，上野・平子・鈴木2，杉本1

◆7/11（土）準決勝

日　本　33（16-16, 12-12）31　サウジアラビア
（3-1 延 2-2）

日本は高いラインの3－2－1ディフェンス、サウジアラビアは6－0ディフェンスで試合開始。日本は元木のインターセプトからの速攻や堤、鈴木のサイドシュート等で加点するが、サウジアラビアの徹底したダブルポストの攻撃を守りきれず20分、10対16とリードされる。しかし日本は元木の4点を含む6連取で16対16で前半を折り返す。

後半もサウジアラビアの徹底したポストプレイを守れず、常に2～3点リードされる展開となる。しかし日本はGK加藤の好セーブの連続で苦しい時間を耐え、残り8分、久保のミドルシュートで26対25と1点リードする。その後もGK加藤の7mスロー阻止、久保の1：1で2点リードするも、サウジアラビアに粘られ延長に入る。延長に入ってもGK加藤が連続スーパーセーブ。その間に平子のポスト、元木のステップシュート等で加点。そして最後、堤のサイドシュートで、33対31で勝利を手にした。ユースアジア大会で初のファイナル進出を果たした。

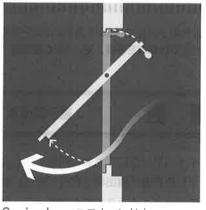
【得点者】元木9，久保7，鈴木6，堤5，玉城・平子2，上野・谷之木1

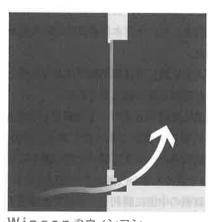
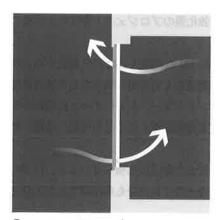
◆7/13（月）決勝

日　本　33（11-24, 22-22）46　韓　国

開始20秒、日本は元木のインターセプトからの速攻、45秒に谷之木の1：1からのカットインで2対0とリードする。しかし韓国は固いディフェンスからの速攻、セットでは力強い1：1からのカットインで加点し、15分で5対16と韓国に大きくリードされる。その後、日本は堤のロングシュート、元木のロングシュートなどで応戦するが、11対24と大きくリードをされて前半を終える。

後半に入っても韓国のディフェンスをなかなか崩すことができない。韓国は切り替えの早い速攻でリードを維持する。日本も鈴木、杉本の両サイドで粘るも、点差は縮まらず33対46で試合終了となった。

【得点者】元木9，久保8，杉本5，堤4，谷之木・鈴木3，玉城1

呼吸する建築

Swindow●スウィンドウ
わずかな風圧も捉えて自然に開閉し、室内外の温度差で効率の良い換気が行えるバランス式逆流防止窓。

Wincon●ウィンコン
内蔵の調節弁により、風の強弱に影響を受けにくく、定風量で換気が行えるヨコ型定風量換気スリット。

Cavcon●キャブコン
内蔵の調節弁により、強風時でも一定の風量で換気ができ、無風時でも内外の温度差による重力換気が行えるタテ型定風量換気スリット。

NAV WINDOW 21

「呼吸する建築」。それは人が呼吸をするように
建築が自然に空気を取り入れ、建物内部の空気を新鮮に保ち
不要なものを排出するシステムを持つことです。
自然換気システム＝NAV WINDOW 21は
これまでの建築の機械空調と共存し
建物を取り囲む風を読み、建物内に風の道を作りそれを状況の変化に
あわせて制御する画期的な換気システムです。

三協立山アルミ株式会社
東京本社／〒164-8503 東京都中野区中央1-38-1
住友中野坂上ビル20F〈環境商品部〉 TEL (03) 5348-0367
インターネットホームページ http://buildingsash.net/

第10回女子ジュニアアジア選手権大会

＊本大会の3位までが2010女子ジュニア世界選手権へのアジアからの出場権を獲得するが、前大会において3位の韓国は本大会に出場することで出場権を獲得、更に2010開催国（韓国）枠があり、これがアジアチームに割り振られ、合計5チームが出場することになる。

報　告　　選手団団長　西窪 勝広

タイ・バンコクにて大会が開催され5カ国が参加し、2位で終了し世界選手権出場を獲得できた。参加国5カ国、全チーム同じホテルという規模の運営であった。

強化本部長に就任し「アジアNo.1に返り咲く」為に何をすべきか投げかけ、各カテゴリーで韓国に勝つかそれに等しい試合をしないと日本代表だけでは大変厳しいと問題提起してきた。

今大会に関しては短期間ではあったが、強化の意図をスタッフが理解し取り組んでくれた。

韓国には前半6点リードで終了したが後半残り10分に逆転され悔しい戦いであった。タイ、香港には完勝、中国戦は終始日本のペースで戦い大型の選手に果敢にアタックするDFは今後に大きな収穫となった試合であった。

最終戦の中国に勝利し、2位で世界選手権の出場権を獲得して終了できたが、悔やまれるのがやはり韓国戦である。

強化部として、試合経験の少ないこの年代層の強化をアカデミーと整合し改善して行く事と、打倒韓国に照準を合わせた強化策のプロジェクトを立ち上げることの必要性を感じた。

亀井HCも国際大会は初の采配であったが、選手個々の能力を遺憾なく引き出し戦ったことは評価に値する。同様にコーチ、ドクター、トレーナーとの役割が明確であり、選手が戦える環境を整えたことも今回の成績にも結びついたと感じる。

まだまだ課題は山積しているが、日本の忘れかけている原点を今大会で私自身も再確認できた大会でもあった。

大会運営はTHAが政府の行事として実施した関係で大きな問題なく終了した。在タイ日本国大使館からもお越しいただきチームに激励の言葉を頂いた（※広報文化部長参事官 青木 信也様）。日本協会の国際担当が、タイ領事館およびタイ日本国大使館と細かく連絡を取っていただき、安心してタイでの試合に集中できたことに感謝している。

報告にあたり今大会は本当に色々な方々のお力で乗り切ることが出来ました。

改めて関係各位に御礼申し上げ報告といたします。

試合結果

日本 41（20 － 9、21 － 11）20 タイ
韓国 33（13 － 19、20 － 12）31 日本
日本 44（22 － 4、22 － 6）10 香港
日本 38（20 － 18、18 － 14）32 中国

星取表

	韓国	日本	中国	タイ	香港	勝-分-敗
1位 韓国	*******	33○31	41○25	39○30	31○24	4-0-0
2位 日本	31●33	*******	38○32	41○20	44○10	3-0-1
3位 中国	25●41	32●38	*******	33○17	35○12	2-0-2
4位 タイ	30●39	20●41	17●33	*******	28○19	1-0-3
5位 香港	24●31	10●44	12●35	19●28	*******	0-0-4

最終順位

①韓国（4勝）
②日本（3勝1敗）
③中国（2勝2敗）
④タイ（1勝3敗）
⑤香港（4敗）

選手名簿

役職	名前	所属
団長	西窪 勝広	（財）日本ハンドボール協会
ﾍｯﾄﾞｺｰﾁ	亀井 好弘	（財）日本ハンドボール協会
コーチ	ネメッシュ・ローランド	（財）日本ハンドボール協会
ﾄﾞｸﾀｰ	沖本 信和	沖本クリニック
ﾄﾚｰﾅｰ	田中 美季	高松大学

		名前	所属
1	CP	松尾 祐依	東京女子体育大学
2	CP	陣野 瞳	東京女子体育大学
3	CP	小菅 亜実	日本女子体育大学
4	CP	沢 綾乃	日本女子体育大学
5	GK	林 あすみ	東海大学
6	CP	原 希美	日本体育大学
7	GK	山根 エレナ	日本体育大学
8	CP	横山 香夢	早稲田大学
9	GK	山下 愛叶	武庫川女子大学
10	CP	辰谷 春奈	武庫川女子大学
11	CP	高山 綾乃	大阪体育大学
12	CP	河田 知美	大阪体育大学
13	CP	川井 望未	北國銀行
14	CP	飯田 菜々栄	ソニーセミコンダクタ九州
15	CP	相沢 莉乃	東海大学
16	CP	笠原 梨加	茨城大学

《戦　評》

◆8/14（金）

日　本　41（20-9，21-11）20　タ　イ

前半開始、タイのボールでスタート。日本は6－0ディフェンスから積極的にボールに対しプレッシャーをかけ、相手ボールを奪いに行く。日本はタイの連続テクニカルミスの間に、原、飯田、小菅の連続速攻で得点を重ね、試合開始5分4－0と立ち上がりリズムの取れないタイに対し日本は順調なスタートを切る。開始5分20秒にタイのカットインが決まり初得点を許すが、日本はその後も河田の連続得点、小菅の速攻と攻撃の手を緩めず点差を広げる。またディフェンスでも相手7mスローをGK山根がファインセーブし、前半15分、11対4と7点差をつける。16分過ぎ、タイは7人攻撃を仕掛け積極的に得点を奪いにくるが、日本のディフェンスも冷静に対応し、タイに連続得点を許すことなく、日本は飯田の速攻、沢のポスト、松尾のサイド、笠原の7mスローと4連続得点を奪い、前半を20対9で折り返す。

後半立ち上がり、日本の攻撃のミスによりこの試合初めてタイに連続得点を許すが、4分過ぎには、飯田に替わってサイドに入った相沢のインターセプトからの連続得点で後半10分、25対12とする。その後も19分過ぎには速攻で3連取し得点を重ねるが、13分過ぎにこの試合初めて高山が退場したところで、タイに7mスロー、カットインで2回目の2連取を許す。しかし後半残り10分過ぎに入った陣野、辰谷、笠原が得点を重ね、41対20で今大会1勝目をあげる。

初戦のタイ戦、立ち上がり多少の緊張はあったが全員が得点をあげ、力の差を見せ付けた試合であった。

【得点者】沢・横山・河田6，原田5，小菅・辰谷・相沢・笠原3，飯田・松尾2，陣野・高山1

◆8/15（土）

日　本　31（19-13，12-20）33　韓　国

前半、韓国ボールでスタート。韓国は日本の6－0ディフェンスに対し1対1を狙い、積極的にディフェンスの間を攻めてくる。開始1分28秒、韓国№5、№17のカットインによる連続得点を許す。その間の日本の攻撃は、韓国3－3ディフェンスに対し中間ポストをきっかけに攻めるが、キャッチミス、オーバーステップと立ち上がり、なかなか攻撃のリズムを取ることができない。日本は開始4分17秒、飯田のサイドシュートで得点するが、連続得点が奪えない。開始5分過ぎに韓国の退場による得点チャンスをきっかけに、松尾の速攻、飯田のサイドシュートで開始10分5対5と同点に追いつく。ここから日本は韓国の攻撃のミスを速攻につなげ、松尾、原、横山、河田と4連続得点で9対5とリード。ここで韓国がタイムアウトを請求。タイムアウト後、韓国にポスト、サイド、ロングと得点を許し、20分過ぎには10対10と同点に追いつかれるが、そこで日本もタイムアウトを請求。攻撃のリズムを修正し、タイムアウト後、韓国の退場も重なり、原、飯田、原、横山、松尾、小菅と速攻を中心に6連続得点。前半終了2分前に、河田の退場があり韓国に連続得点を許すが、松尾の視野外からのカットインで前半19対13の6点差で折り返す。

後半、韓国はディフェンスを6－0に変え、日本のポスト、サイドシュートを防ぐ作戦に出る。日本は河田のロング、ミドルで得点を重ねるが、徐々に攻撃でのシュートミス（ノーマークシュート・7mスロー）が重なる。韓国はオフェンスではセンター中心であった攻撃をサイドまで展開し、サイドシュートでの連続得点をあげ、後半15分には25対24と1点差に迫る。17分過ぎにサイドシュートで同点とされるが、日本もキャプテン飯田のサイドシュート、小菅の7mスローで連続得点を取る。20分過ぎ、小菅の退場をきっかけに、オフェンスで消極的になったところを韓国に2連続速攻を許し、25分27対30と3点差を日本が追う展開となる。残り5分で韓国に退場者、その間日本は河田、横山のカットインで加点するも、韓国にも得点を許す。2点差のまま、残り2分14秒、日本は7mスローのチャンスを得るが決めることができず、2点差のまま試合は終了した。後半の連続失点が悔やまれ、決めなければならなかった場面でのシュートミス（ノーマーク・7mスロー）が最後まで課題として残った。

【得点者】横山・松尾6，原・小菅・河田5，飯田4

◆8/17（月）

日　本　44（22-4，22-6）10　香　港

前半開始から香港のミスを速攻につなげ、松尾の連続速攻、原、河田、飯田、小菅と速攻で開始10分には8対0と一方的な展開で試合が進む。その後も、速攻を中心に日本は得点を重ねる。香港は14分57秒にサイドシュートで初得点をあげるが、その後も堅い守りから香港のミスを二次速攻につなげ得点を重ね、前半は22対4で折り返す。

後半も前半同様に攻撃の手を緩めない日本は、相沢、河田、原の速攻で5連続得点をあげる、香港は日本のディフェンスに対し攻撃の糸口が見つからずテクニカルミスの連続でなかなか得点を重ねることができない。日本はその間も、メンバーを替え辰谷のミドル、沢の速攻、高山の速攻で追加点を奪い、後半10分過ぎには36対7と29点差に。日本は香港に得点を許した後のクイックスタートも決まり、最後まで攻守の力を緩めることなく完勝の試合であった。

【得点者】相沢8，河田7，小菅6，沢・横山5，松尾・飯田3，原・辰谷・高山2，笠原1

〜詳細なGKデータを〜

企画・広報委員
早川　文司

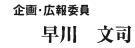
日本リーグが開幕、年末に中国で女子世界選手権の足音も次第に大きく聞こえてくる時期になるなど、球界のオクターブもいっそう上がってきている。

そうした中で以前から気になっているのがＧＫのデータだ。全般に球界の記録には物足りなさは感じるが、とりわけＧＫのデータは少々寂しすぎるのではないだろうか。

日本リーグの過去の歴史を振り返ってみても、７㍍スロー阻止率賞という表彰部門はある。しかし、タイトルが設けられたのは、第16回になってからだ。それも阻止率でなく阻止数だった。現在の阻止率になったのは、それから13シーズン後の第28回からになる。

もっと言えば、阻止数のデータすら最初はなかったのだから、無理からぬ話かもしれない。シュート率すらないのだから、ましてやーと言えるかもしれないが、あまりにもお粗末だった。

ＧＫというポジションは決して派手ではない。だが、相手の攻撃を阻む最後のトリデ。最終関門として重要なポジションである。だからこそ彼らのプレーを的確に評価するデータは欠かせない。

酒巻監督のアイデアで日本代表ＧＫらによるマニュアルの作成に乗り出した。国際舞台で活躍するには、ＧＫの存在が絶対と言う捉え方かもしれないし、ＧＫを目指す人たちには大いに参考になるはずだ。

そうしたことからも、ＧＫの存在をアピールする詳細なデータ収集をすべきであろう。現在、ＧＫのデータと言えば、７㍍スローに関する阻止数と７㍍スローを受けた数だけだ。（いわゆる阻止率）。フィールドシュートを受けた本数や阻止数などはまったく記録されていない。

７㍍スロー阻止率だけでＧＫの評価ができるわけでもなく、シュート阻止率も試合を左右するためには重要な要素ではないかと思う。

また、日本協会の公式記録には、ＣＰを含めて出場時間の記述がない。何分コートに立ったかは記録として残しておきたい事項の一つである。

国際試合ではなおさらである。国際連盟の記録様式を参考にして、出来る限り個人データを詳細に記述する様式への改訂が必要だ。

個々の試合数にしても、ベンチ登録と同じではあまりにも大雑把。詳細なデータを取りまとめることは、プレーヤーを高く評価することにもつながってくることである。選手を大切にする意味からも、まずＧＫのデータに光を当てたい。

チャレンジ・ディビジョン創設について

日本ハンドボールリーグ機構事務局長　茂木　均

今秋スタートする日本ハンドボールリーグ機構のチャレンジ・ディビジョンについて、現状を報告いたします。
まずは設立に至った経緯から、

（設立経緯）

企業のスポーツチームが経済環境の変化により休廃部に追い込まれ、スポーツ愛好者が活動する機会が失われる状況が続いております。ハンドボール界も同様な状況下にあります。

この様な状況を打破し、より多くの社会人ハンドボーラーに活動の機会を提供するため、日本ハンドボールリーグ機構内に新しいディビジョンを設立する事となりました。

＊日本リーグとは別リーグの位置づけで、入替え戦等の規定はありません。

次に多くのチームが参加できるように、参加条件や開催概要を決めました。

（参加対象）

企業チーム（日本協会Ａ登録）　クラブチーム（日本協会Ａ登録）　学生チーム（学生登録）　国体用に組織されたチーム

（試合日）週末を利用しての集中開催

（試合会場）主に日本リーグ所属チームが所有する体育館を使用

本年２月に新ディビジョンの骨子をまとめ、各都道府県ハンドボール協会や実業団チーム、学生チームに参加を呼びかけたところ、興味を示すチームが多数出て来たため、５月中旬名古屋市において新ディビジョンの説明会を開催しました。説明会参加チームを中心に、参加の意思確認をしたところ、男子 11 チーム、女子２チームから参加申し込みがありました。
チーム名は以下の通りです。

■男子　11 チーム（東西に分けてリーグ戦実施）

東地区（５チーム）

ＦＯＧ（千葉）　セントラル自動車（神奈川）　ＨＣ岐阜　大同大学（愛知）　トヨタ自動車（愛知）

西地区（６チーム）

Honda（三重）　八光自動車（大阪）　ＨＣ ＭＩＫＡ（奈良）　高松大学（香川）　徳山クラブ（山口）　ＨＣ山口

■女子　２チーム

ＨＣ高山　徳山クラブ

第１回チャレンジ・ディビジョンは男子のみの大会となりますが、次の通り予定されています。

（第１回大会日程）

リーグ戦…①平成 21 年 10 月 31 日、11 月１日　②平成 21 年 12 月５日、12 月６日
③平成 22 年１月 16 日、17 日　④平成 22 年２月７日（日）

順位決定戦…平成 22 年２月 27 日、28 日

会場…トヨタ車体吉原体育館、トヨタスポーツセンター第１体育館、湧永満之記念体育館等

参加各チームから運営委員を出してもらい、試合運営に当たりますが、今後各都道府県協会にはオフィシャルの派遣等、ご協力をお願いすることが多々あると思います。ご協力をお願いします。

平成 21 年 3 月 14 日・15 日の両日、駒澤大学において、第７回ハンドボールコーチング研究会が開催されました。本研究会は、全国指導者が自身の経験や・知見を持ち寄り、実際の現場で有用な情報を共有する機会として位置付けられています。

研究会の発表内容については、本誌で連載報告していただく運びとなりました。

今月は吉村晃さん（中京大学大学院）の発表内容「ハンドボール・ゴールキーパーの注視行動に関する研究」を報告させていただきます。なお、他の発表については次号以降で報告を連載いたします。

(財)日本ハンドボール協会指導委員会研究部会　舎利弗　学（学校法人松韻学園福島高等学校）

ハンドボール・ゴールキーパーの注視行動に関する研究

吉村　晃（中京大学大学院修士課程）

キーワード：ゴールキーパー、シューターのラテラリティ、原著論文

研究目的

Savelsbergh ら[1]は熟練度の高いゴールキーパーはゴールキーピング準備段階において注視範囲、注視回数、主な注視箇所が熟練度の低いゴールキーパーとは異なっており、シューターの身体における関係のない領域への注視を減らし、長い注視時間と少ない注視回数を用いる視覚探索方略を用いているとしている。またシュミット[2]は、パフォーマンスは刺激における情報処理過程を経てプログラミングされると述べている。

本実験では、熟練ゴールキーパーの視覚刺激の情報処理過程における刺激同定段階、反応選択段階において、シューターの条件をより細分化して視覚刺激を提示した場合、先行研究で示唆されているような熟練者の水準で処理され、目標となる運動を実行するための運動システムをプログラミングしているのかどうかを、刺激同定段階においてラテラリティの異なるシューターの投球映像を提示し、眼球運動測定装置を用い、熟練のゴールキーパーの注視行動を指標として明らかにする。

方　法

被験者はハンドボールにおけるゴールキーパーを３年以上経験している右利きの学生男子４名、女子２名を熟練者とした。被験者は映像によるシューターの投球動作に対して仮想のゴールマウスに設置されたボールにタッチをする選択反応動作を行った。

提示映像

右利き、左利き各１名のハンドボールにおける熟練のシューターを使用し、ゴールキーパーポジションから見たペナルティスロー局面におけるシュート映像が各シューター 24 試行で構成されている。そのうち 12 試行がシューターの本来の利き手からの投球映像であり、残りの 12 試行はこれらの投球映像に左右反転処理を施し同一投球者における利き手を変化させ、これらの試行をランダムに再生した。

結　果

シューターのラテラリティの違いはゴールキーパーのキーピング準備段階における１回の注視における平均注視時間に影響を及ぼさなかった。その結果を図１に示す。

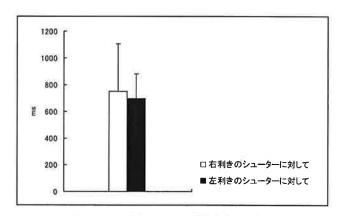



図１　１回の注視における平均注視時間及び SD

しかしキーピング準備段階におけるシューターに対する視線配置においてはシューターのラテラリティは影響を及ぼした。その結果を図２に示す。

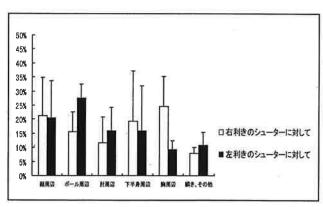



図２　ゴールキーパーのシューターに対する視線配置

ボール周辺、肘周辺において、左利きのシューターに対する視線配置割合が、右利きのシューターに対する視線配置割合よりも有意に（$p<0.05$）高かった。左利きのシューターに対しての視線配置割合はRipolら[3]やWilliamsら[4]の述べる非熟練者の視線配置の特徴に類似する結果となった。また、胸周辺において、右利きのシューターに対する視線配置割合が、左利きのシューターに対する視線配置割合よりも有意に（$p<0.05$）高かった。右利きのシューターに対するゴールキーパーの視線配置割合は先行研究[3) 4)]の述べる熟練者の視線配置の特徴に類似する結果となった。

考　察

熟練ゴールキーパーのゴールキーピング準備段階における視覚刺激同定段階でのシューターのラテラリティの変化は、その後の反応選択段階における視線配置において影響を及ぼす事が示唆された。しかしシューターのラテラリティの変化が熟練ゴールキーパーの反応選択段階における注視回数と注視時間には影響を与えてはいない事から、これらの要因には次のような関係が成り立つと推測される。ある視覚刺激が提示された場合、望ましい環境目標を達成するために有効な視覚情報を獲得するにあたり、効率的な注視箇所を長い注視時間と少ない注視回数を用いて処理する事で一貫している。しかし、その視覚刺激をあまり経験した事がない場合においては、有効な視覚情報を獲得する事ができる箇所を把握していないために、長い注視時間と短い注視回数を用いて環境目標の達成には非効率的な注視箇所から獲得した視覚情報をもとに処理を行ってしまう。

本実験では右利き者からみた左利き者と右利き者いう相互攻防型スポーツにおいて頻繁に起こりうる状況において、右利き者からみた左利き者と右利き者からみた右利き者は全く同様な視覚刺激として処理されてはおらず、視覚刺激の処理水準において差が生じる可能性を示唆した。

ハンドボールではゴールキーパーの左利きのシューターに対する特別な対策などがトレーニング段階において頻繁に行われているが、それらの多くは左利きの選手に慣れるという抽象的なトレーニング内容である場合が多い。左利きのシューターに対するゴールキーパーの具体的な対策として、視覚認知的側面からゴールキーパーの左利きのシューターに対する視線配置割合を右利きのシューターに対する視線配置割合に近づける事が出来れば、ゴールキーパーはその視覚探索方略においてシューターのラテラリティに影響されずに同水準の熟練度を保つ事が可能となる。そうなれば左利きのシューターがゴールキーパーに対して持つアドバンテージは消失する可能性がある。視線配置における熟練度を増すためには運動学習が必要不可欠であり、本実験の結果から、ゴールキーパーの左利きのシューターに対する視覚認知的な熟練度向上を目的としたビデオトレーニングなどに発展させる事が今後の課題である。

参考文献

1）Savelsbeagh, G. J. P., Williams A. M., Van Der Kamp, J., and Ward, P.(2002)Visual Search, anticipation and expertise in soccer goalkeepers. Journal of Sports Sciences, 20: 279-287.

2）シュミット：調枝孝治監訳（1991）運動学習とパフォーマンス：理論から実践へ大修館書店：東京，pp15-44.

3）Ripoll, H., Kerlirzin, y., Stein , J. F., and Reine, B.(1995)Analysis of information processing decision making, and visual strategies in complex problem solving sport situations. Human Movement Science, 14: 325-349.

4）Williams, A. M., and Elliott, D.(1999) Anxiety, expertise, and visual search strategy in karate. Journal of Sport and Exercise Psychology, 21: 362-375.

平成21年度

第12回ハンドボール研究集会 実施報告

表記研究集会が以下のように実施されました。ここに、機関誌面をお借りし、報告させていただきます。

学校体育ハンドボール検討委員会 委員　丸井 一誠

1．期　間　平成21年8月6日（木)、7日（金）

2．場　所　東京都　私立大成高等学校

3．主　催　（財）日本ハンドボール協会

4．主　管　東京都ハンドボール協会

5．後　援　文部科学省　東京都教育委員会

6．実施内容

【8月6日（木)】

開会式　12：30－12：50

講　義　12：50－13：50

講師　東海大学教授　小澤　治夫

『体育教材を料理する』

●サッカーの導入で用いられるハンドボール

●生活習慣の悪化と体力低下の実態

●脳と体育の関係

●体力テストの実施方法の工夫

●シンクロパフォーマンス運動

●よい教材・よい教具・よい場づくり

● Boys be ambitious!「Like this old man!」

研究発表　14：00－15：10

①中島和也（福井大学教育地域科学部附属小学校）・三上肇（福井大学）

『福井大学教育地域科学部附属小学校の実践』

②岡田明裕（山形県酒田市立十坂小学校）

『生活指導を活かしたチームづくり』

③佐々木一（秋田県羽後町立元西小学校）

『豊かなかかわりをもち、共に高め合う体育学習を目指した授業の実践ーチーム戦術を意識した授業づくりの工夫ー』

④渡邊和弘・細田知也（埼玉県さとえ学園小学校）

『明快、カラーコートハンドボール　その2』

実技研修　15：30－17：00

講師　盛岡市立大慈寺小学校副校長　山本　繁

『ゴール型ボール運動の動きの基本ーオフザボールの動きを知ろうー』

●動き遊び（アイスブレーキング）

一人で…グーパー、右手2拍子・左手3拍子

二人組みで…押し合い、膝タッチ、足踏み

●ボール遊び

ボールキャッチ、ダッシュキャッチ、

ドリブルキャッチ

パストレ

●ドリルゲーム・タスクゲーム

ファイブス

●すべての子どもによい動きを引き出すルールでのハンドボールゲーム

交流会　18：00－20：00

【8月7日（金)】

受　付　08：30－09：00

授業提案　09：00－11：00

授業者：清水　由（筑波大学附属小学校）

『かべぶつけとはしごドッジボール』（2年）

授業者：淺川泰裕（千代田区立富士見小学校）

『ハンドボール』（4年）

講義　11：15－12：15

講師　文部科学省教科調査官　佐藤　豊

『系統性を踏まえたゴール型球技の授業づくり』

●学習指導要領の改善について

●生涯スポーツの実践化

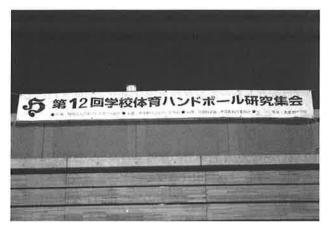
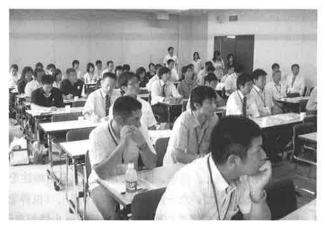
●体育は知識だけではない学習内容

●指導内容の体系化および系統性

●単元計画（指導と評価）作成のポイント

●球技の授業づくり

●ゴール型教材としてのハンドボール

閉会式　12：15－12：30

7．まとめ

多くの先生は体育の授業をするとき、「運動が上手になるため何を身につけさせるといいのか、またどうしたら好きになるか」等、主題をもって体育の授業を行おうとしていると思います。本研究集会を通して、ゴール型としてのハンドボール教材は、運動が上手になるための大切な運動能力を保証できる有効な典型教材であると感じずにはいられない内容であり、ハンドボールの教材価値をさまざまな視点から再認できた二日間であったと思います。実りのある内容であったのも講義・発表・実技研修・授業実践をしていただいた先生方のおかげであり、大変感謝申し上げます。

このハンドボール教材が、多くの先生方によい教材として認識され、指導できる教材として成長することが今後の課題であり、ますます発展するよう委員一同取り組んでいきますので、今後とも、子どもによりよいものを提供したいと考えるみなさんのご協力のほど、よろしくお願いします。

最後に今回、本研究集会を開催するにあたり、猛暑のなか、ご尽力していただいた運営委員のみなさま、関係者の方々に感謝を申し上げつつ、ご報告とさせていただきます。

2009 NTSブロックトレーニング（関東）

平成21年度第10回ナショナルトレーニングシステム（ＮＴＳ）ブロックトレーニングが全国9箇所で開催され、その一つである、関東ブロックトレーニング（8月29日、30日、9月5日、6日：味の素ナショナルトレーニングセンター）を訪問しました。

競技力向上の基礎として推進されてきた「ＮＴＳ」は、今回で10回目を迎え、「若年層の運動能力の高い意欲のあるプレーヤーを早期に発掘し、将来、世界で活躍出来る可能性を持ったクリエイティブな日本代表プレーヤーに育成する」、「統一された指導方法に基づいた一貫指導を実施する」、「世界を目指した指導内容を実施し、指導者のレベル向上を図る」、「各地区・地域のチーム・指導者に新しいハンドボール情報を伝達する」、「以上を実施する事による普及発展を図る」を目的としています。

8月29日から開催の関東ブロックトレーニングでは、参加者側が小中高・男女156名と指導者93名、主催者側のインストラクター・役員など20名余と総勢270名規模で行われました。ＮＴＳ関東ブロック技術委員長（日本協会：参事）の大村久氏からは、「関東ブロックの主催担当都府県も２順目となり、昨年からは開催場所も固定化（味の素トレーニングセンター）とすることができ、設備・環境面では非常に充実してきました。これからは、各都府県の運営スタッフの増強と、指導者の育成等にもより一層力を注ぎたい」と抱負を戴きました。全国９ブロックの推薦者が絞り込まれ、正月明けにはセンタートレーニング（中学・高校生各30名を予定）が開催されます。このＮＴＳから一人でも多く、世界で活躍できる選手が生まれる事が期待されています。

「水分補給のすすめ」を受講する選手

キーパートレーニングの一こま

参加選手へのインストラクターからの指導（男子）

参加選手へのインストラクターからの指導（女子）

指導者への説明の一こま

ＮＴＳ関東ブロック技術委員長の大村久氏

平成21年度JHA公認審判員A級審査会報告

7月24日（金）から26日（日）まで、福島県本宮市総合体育館・本宮一中体育館他で開催されました。審査会は公式の大会「第29回全国クラブハンドボール選手権東地区大会」に並行して行われました。

■7月24日（金）開講式／講義・越田義昭（JHA審判審査指導委員会委員長）／植村彰（JHA審判委員長・JHA審判審査指導委員会委員）／筆記試験　■7月25日（土）実技試験／ヨーヨーテスト　■7月26日（日）実技試験／講評・小友正人（JHA審判審査指導委員会委員）／閉講式

富山県ハンドボール協会
桶家秀介（ブンシンスポーツ）
魚川友康（氷見市立北部中学校）

７月末で梅雨明けしていない、蒸し暑い気候の中、全国から30名という例年以上に多くの受験者が福島県本宮市に会し、緊張感と厳粛なムードの中「平成21年度JHA公認審判員A級審査会」が開催されました。冒頭、審査指導委員長・越田義昭氏の講義では、審判員として最高位に位置するA級審判員としての姿勢、規範となる行動について、そしてレフェリングは人間性そのものの表れで、密な関係にあり、自己研鑽なくして、審判員としての確立はないとの訓示を受けました。

実技試験についての注意点として、小友審査指導員から７つの課題を伝達されました。

①ゲーム立ち上がりの基準、②正しいスローの実施、③正当な防御動作の評価、④段階的罰則、⑤アドバンテージ、⑥パッシブプレー、⑦シミュレーションプレーの排除

実技合格ラインは65点以上（五輪、世界選手権で75点～80点）と聞いて皆に緊張感が走りました。最後に筆記試験が実施されました。

25日は朝から大会に割当てられ、各会場コートで実技試験が始まりました。各審判員は各コートに配置され、審査に臨みました。一般男子種別のゲーム展開の流れと会場の熱さで異様な雰囲気の中、どの審判員も緊張しながら笛を吹く姿が印象的でした。日ごろ、全日本大会や地方ブロック大会を経験しているレフェリーも、審査会の精神的重圧からか、「差し違え」や「判定ミス」からゲームの流れを変えてしまっていました。選手やチーム役員も判定について抗議する場面もありました。日ごろから正確な判定をできる為の知識と運用のトレーニングが必要であると痛感しました。また判定後の処理は、正しく丁寧に行うとよく、謙虚さが表れると感じました。流れを作るのもレフェリー、流れを大きく変えるのもレフェリーです。同日、多くのレフェリーが実技を終え、フィジカルテストであるヨーヨーテストを行いました。

26日は数組の受験者が実技を行いました。昨日実技を終えた受験者も各々のコートで最後まで他の受験者を見守り連帯感ができ、時には励ます場面もありました。私達の担当ゲームでは、「ふだんどおりに」「より丁寧に」を確認して審査に臨み、序盤から積極的に基準を出し、選手達のリズムが流れてきたので、全体を通して自然と運ぶようになり、私達レフェリーも流れに乗って審査を終えることができました。

３日間にわたって行われたA級審査会も全ての実施内容を終え、閉講の際に小友正人・審査指導員から総括を頂きました。「A級を取得してからの目標は何ですか？」今回集まったレフェリー達に強く響く言葉でした。ハンドボールを見て楽しい・やって楽しく面白い競技にするために、私達は「ハンドボール観」を確立しなければなりません。とりわけレフェリーの立場から、そして総合的な視点から競技を捉え日々研究し、努力を怠ってはならないことを胸に、今回の審査会が受験者それぞれに各県への帰路につきました。

最後に３日間の審査会の舞台となった、第29回全国選手権東地区大会の競技役員の皆様をはじめ、地元福島県協会、本宮市協会のみなさまにもご協力を感謝します。ありがとうございました。

岩手県ハンドボール協会
斎藤　崇（岩手県立一戸高等学校）
市丸成彦（岩手県立盛岡農業高等学校）

今年度の審査会には全国から38名と例年に比べて多くの申請者がありましたが、事前の書類審査にて担当試合と受講証欄への記載、審判長検印等について厳正に審査された結果、32名の合格でしたが、２名の欠席により30名による審査会となりました。筆記試験は13名が満点という報告でしたが、全国大会では全審判員に筆記試験が課せられており、ルールに精通する上でも競技規則問題集への取り組みが大切に感じました。ヨーヨーテストについては実施内容の情報が少なく、受験者は戸惑いながらの実施となりましたが、40回以上を含めて21名が20回以上をクリアするなど、和やかな雰囲気の中、全員が良好な成績で終えることができました。

実技審査に先だち、越田義昭審判審査指導委員長並びに小友正人審判審査指導委員、そして植村彰審判委員長より講義を頂きました。「平成21年度審判員の目標」があらためて確認され、特に正当な防御プレーの保障に努めるとともに、ゲーム開始５～10分間でラフプレーと段階的罰則の区別を見極め、ジェスチャーや笛の強弱、時には口頭で明確に基準を示すことが重要であることをご指導頂きました。また、明らかな得点チャンスにディフェンスがゴールエリア内に侵入した際の判定基準や、シミュレーション、アドバンテージ、パッシブプレー、レフェリーの任務分担等、多岐にわたり明確な解説を頂き実技審査に臨むことができました。

私たちが研鑽を積んでいる岩手県は、トップレフェリーとして活躍されている中舘豊・多田和生両A級審判員を模範として技術を学ぶとともに、小友正人先生より世界的視野でのきめ細かいご指導を受ける機会に恵まれています。私たちはそのような中、選手に怪我をさせず、両チームの持ち味を十分に発揮させながら勝負を決せられるレフェリングを常に課題としています。A級取得後も日本リーグ、そして全日本総合選手権大会をも担当させて頂けるようハンドボール観を磨き、日本ハンドボール界の発展に貢献していきたいと考えています。

スコアールーム①

第22回全国小学生ハンドボール大会

開催期日：2009年7月29日（水）～7月31日（金）
会　場：京都府・京田辺市中央体育館ほか

【男　子】

■ 予選Aブロック

木田ブルーロケッツ 31（17－8、14－7）15 隼人H・Cスポ少
木田ブルーロケッツ 29（16－4、13－8）12 明石ジュニア
隼人H・Cスポ少 17（10－4、7－10）14 明石ジュニア

【順位】①木田ブルーロケッツ2000（福井県）②隼人H・Cスポーツ少年団（鹿児島県）③明石ジュニア（兵庫県）

■ 予選Bブロック

小島小ハンドボール部 19（9－9、10－3）12 塩山スポ少
大浜キッズ 22（8－7、6－7／3－3、5－2）19 のみジュニア
大浜キッズ 14（7－4、7－9）13 小島小ハンドボール部

▼ 敗者戦

のみジュニア 13（6－7、7－4）11 塩山スポ少

【順位】①大浜キッズ（大阪府）②小島小ハンドボール部（長崎県）③のみジュニアハンドボールスクール（石川県）④塩山ハンドボールスポーツ少年団（山梨県）

■ 予選Cブロック

富岡イーグルス 15（7－2、8－3）5 和歌山ハンドボール教室
笹川クラブ 19（7－6、6－7／2－1、4－1）15 日知屋東
富岡イーグルス 16（6－3、10－9）12 笹川クラブ

▼ 敗者戦

日知屋東小 12（6－6、6－4）10 和歌山ハンドボール教室

【順位】①富岡イーグルス（群馬県）②笹川ハンドボールクラブ（三重県）③日知屋東小ハンドボール部（宮崎県）④和歌山ハンドボール教室（和歌山県）

■ 予選Dブロック

松井ヶ丘小学校 18（9－3、9－6）9 IDBスポーツクラブ
東海スクール 15（9－3、6－2）5 東根スポ少
松井ヶ丘小学校 15（6－4、9－4）8 東海スクール

▼ 敗者戦

IDBスポーツクラブ 22（6－0、16－3）3 東根スポ少

【順位】①松井ヶ丘小学校ハンドボールクラブ（京都府）②東海ハンドボールスクール（愛知県）③IDSスポーツクラブ（山口県）④東根ハンドボールスポーツ少年団（山形県）

■ 予選Eブロック

下郡スポ少 21（10－2、11－6）8 守谷クラブ
高山ミニ 19（13－1、6－3）4 新居浜ジュニア
下郡スポ少 19（14－3、5－3）6 高山ミニ

▼ 敗者戦

守谷クラブ 26（14－2、12－6）8 新居浜ジュニア

【順位】①下郡ハンドボールスポーツ少年団（大分県）②高山ミニハンドボールクラブ（岐阜県）③守谷クラブ（茨城県）④新居浜ジュニアハンドボールクラブ（愛媛県）

■ 予選Fブロック

神森小学校 18（10－6、8－3）9 LHC静岡
塩江スポ少 15（6－7、9－7）14 瀬戸ジュニア
神森小学校 22（10－4、12－3）7 塩江スポ少

▼ 敗者戦

LHC静岡 10（5－2、5－5）7 瀬戸ジュニア

【順位】①神森小学校ハンドボールクラブ（沖縄県）②塩江ハンドボールスポーツ少年団（香川県）③LHC静岡ハンドボールスクール（静岡県）④瀬戸オールスターズジュニア（岡山県）

■ 予選Gブロック

田辺東小学校 15（9－3、6－7）10 かやけクラブ
三郷クラブ 23（13－6、10－3）9 安芸高田クラブ
田辺東小学校 16（9－7、7－8）15 三郷クラブ

▼ 敗者戦

かやけハンドボールクラブ 18（11－5、7－6）11 安芸高田クラブ

【順位】①田辺東小学校ハンドボールクラブ（開催地）②三郷ハンドボールクラブ（埼玉県）③かやけハンドボールクラブ（北海道）④安芸高田ハンドボールクラブ（広島県）

■ 予選Hブロック

上庄クラブ 21（9－1、12－3）4 真弓クラブ
豊福小学校 26（13－1、13－3）4 府中クラブ
上庄クラブ 9（7－0、2－5）5 豊福小学校

▼ 敗者戦

真弓クラブ 19（10－1、9－4）5 府中クラブ

【順位】①上庄ハンドボールクラブ（富山県）②豊福小学校（熊本県）③真弓クラブ（奈良県）④府中ハンドボールクラブ（東京都）

■ 準々決勝

木田ブルーロケッツ 29（14－3、15－6）9 大浜キッズ
松井ヶ丘小学校 13（6－4、7－4）8 富岡イーグルス
下郡スポ少 21（10－4、11－12）16 神森小学校
上庄クラブ 22（10－5、12－4）9 田辺東小学校

■ 準決勝

木田ブルーロケッツ 23（13－5、10－7）12 松井ヶ丘小学校
下郡スポ少 18（10－6、8－5）11 上庄クラブ

■ 3位決定戦

上庄クラブ 13（3－7、10－3）10 松井ヶ丘小学校

■ 決勝戦

下郡スポ少 20（9－5、11－6）11 木田ブルーロケッツ

【女　子】

■ 予選aブロック

仏生寺スポ少 16（6－4、10－0）4 総社ジュニア
仏生寺スポ少 34（14－3、20－9）12 大浜キッズ
総社ジュニア 16（7－5、9－8）13 大浜キッズ

【順位】①仏生寺スポーツ少年団（富山県）②総社クラブジュニア（岡山県）③大浜キッズ（大阪府）

■ 予選bブロック

LITTLE GUTS 13（9－2、4－4）6 のみジュニア
高盛クラブ 24（11－3、13－7）10 和歌山ハンドボール教室
高盛クラブ 12（7－4、5－4）8 LITTLE GUTS

▼ 敗者戦

のみジュニア 17（9－6、8－9）15 和歌山ハンドボール教室

【順位】①高盛ハンドボールクラブ（北海道）②LITTLE GUTS（山口県）③のみジュニアハンドボールクラブ（石川県）④和歌山ハンドボール教室（和歌山県）

■ 予選cブロック

高田スポ少 26（13－2、13－4）6 LHC静岡スクール
木田ブルーロケッツ 22（8－6、14－6）12 神戸ラスカルズ
高田スポ少 17（9－9、8－5）14 木田ブルーロケッツ

▼ 敗者戦

神戸ラスカルズ 17（9－6、8－5）11 LHC静岡スクール

【順位】①高田ハンドボールスポーツ少年団（大分県）②木田ブルーロケッツ2000（福井県）③神戸ラスカルズ（兵庫県）④LHC静岡ハンドボールスクール（静岡県）

■ 予選dブロック

桃園小学校 26（12－0、14－5）5 小島小
山梨市スポ少 21（9－1、12－3）4 東根スポ少
桃園小学校 14（9－4、5－5）9 山梨市スポ少

▼ 敗者戦

東根スポ少 20（10－3、10－7）10 小島小

【順位】①桃園小学校ハンドボールクラブ（開催地）②山梨市ハンドボールスポーツ少年団（山梨県）③東根ハンドボールスポーツ少年団（山形県）④小島小ハンドボール部（長崎県）

■ 予選eブロック

豊福小学校女子 19（11－5、8－7）12 笹川クラブ
守谷クラブ 24（17－1、7－3）4 愛媛ジュニアーズ
守谷クラブ 11（6－4、5－6）10 豊福小学校女子

▼ 敗者戦

笹川クラブ 19（10－1、9－2）3 愛媛ジュニアーズ

【順位】①守谷クラブ（茨城県）②豊福小学校女子ハンドボール部（熊本県）③笹川ハンドボールクラブ（三重県）④愛媛ジュニアーズ（愛媛県）

■ 予選 f ブロック
松井ヶ丘小学校 17（4－2、13－3）5 オリーブちゃん
東久留米クラブ 14（4－3、5－6／2－3、3－1）13 三松小スポ少
松井ヶ丘小学校 11（5－1、6－4）5 東久留米クラブ
▼ 敗者戦
三松小スポ少 14（6－3、8－1）4 オリーブちゃん
【順位】①松井ヶ丘小学校ハンドボールクラブ（京都府）②東久留米ハンドボールクラブ（東京都）③三松小ハンドボールスポーツ少年団（宮崎県）④オリーブちゃん（香川県）

■ 予選 g ブロック
宮城小学校 13（7－4、6－2）6 三郷クラブ
高山クラブ 21（13－2、8－4）6 安芸高田クラブ
宮城小学校 7（4－1、3－3）4 高山クラブ
▼ 敗者戦
三郷クラブ 20（11－2、9－2）4 安芸高田クラブ
【順位】①宮城小学校ハンドボールクラブ（沖縄県）②高山ミニハンドボールクラブ（岐阜県）③三郷ハンドボールクラブ（埼玉県）④安芸高田ハンドボールクラブ（広島県）

■ 予選 h ブロック
東海スクール 29（15－0、14－0）0 真弓クラブ
富岡ラビッツ 13（5－2、8－2）4 真弓クラブ
東海スクール 20（11－1、9－2）3 富岡ラビッツ
【順位】①東海ハンドボールスクール（愛知県）②富岡ラビッツ（群馬県）③真弓クラブ（奈良県）

■ 準々決勝
仏生寺スポ少 18（9－4、9－4）8 高盛クラブ
桃園小学校 13（6－4、3－5／1－2、3－0）11 高田スポ少
松井ヶ丘小学校 14（8－5、6－3）8 守谷クラブ
宮城小学校 12（3－3、9－5）8 東海スクール

■ 準決勝
仏生寺スポ少 16（5－3、11－3）6 桃園小学校
宮城小学校 12（6－3、6－3）6 松井ヶ丘小学校

■ 3位決定戦
松井ヶ丘小学校 15（6－4、9－5）9 桃園小学校

■ 決勝戦
仏生寺スポ少 18（12－3、6－7）10 宮城小学校

スコアールーム ② 第17回全日本マスターズ大会

開催期日：2009年7月31日（金）～8月2日（日）
会　場：愛知県・スカイホール豊田ほか

【男子交流型】

■ あブロック
知多クラブ 20－14 東山クラブ
知多クラブ 16－11 横浜平沼マスターズ
知多クラブ 11－11 小松キャステックス
東山クラブ 16－14 豊橋マスターズ
山口選抜 13－12 東山クラブ
豊橋マスターズ 12－11 横浜平沼マスターズ
小松キャステックス 11－10 豊橋マスターズ
横浜平沼マスターズ 20－16 山口選抜
小松キャステックス 14－8 山口選抜

■ いブロック
HC名古屋ATF・A 12－3 LBCアルバトロス
チーム2009 13－2 LBCアルバトロス
LBCアルバトロス 10－8 神楽坂シニア
福岡クラブ 10－8 HC名古屋ATF・A
葵クラブA 11－9 HC名古屋ATF・A
チーム2009 17－8 神楽坂シニア
チーム2009 10－6 葵クラブA
神楽坂シニア 10－9 福岡クラブ
葵クラブA 15－12 福岡クラブ

■ うブロック
葵クラブB 22－14 海自桜錨会B
櫻ドール 9－8 葵クラブB
鉄球会 13－12 葵クラブB
海自桜錨会B 14－11 岐阜MHC（A）
海自桜錨会B 15－15 東京都クラブ連盟
岐阜MHC（A） 18－14 櫻ドール
岐阜MHC（A） 13－8 鉄球会
東京都クラブ連盟 21－12 櫻ドール
鉄球会 20－16 東京都クラブ連盟

■ えブロック
HC名古屋ATF・B 8－7 三景
兵庫選抜 15－10 三景
生駒オークス 10－8 三景
HC名古屋ATF・B 12－8 46G会
HC名古屋ATF・B 18－13 愛知コモンズ
兵庫選抜 17－9 46G会
生駒オークス 17－12 46G会
兵庫選抜 20－12 愛知コモンズ
生駒オークス 14－11 愛知コモンズ

■ おブロック
岐阜MHC（B） 18－2 拝島ブルーウッド
拝島ブルーウッド 12－5 北陸OBマスターズ
安威川クラブ 15－7 拝島ブルーウッド
小金クラブ 16－8 岐阜MHC（B）
蒲郡クラブ 14－9 岐阜MHC（B）
小金クラブ 18－12 北陸OBマスターズ
安威川クラブ 9－7 小金クラブ
蒲郡クラブ 13－11 北陸OBマスターズ
蒲郡クラブ 14－12 安威川クラブ

■ かブロック
静岡マスターズ 22－8 愛豊Z
オークス 11－7 愛豊Z
TEAM NEXT 9－8 愛豊Z
静岡マスターズ 15－8 広尾クラブ
中京オールスターズ 17－14 静岡マスターズ
オークス 14－9 広尾クラブ
広尾クラブ 19－8 TEAM NEXT
中京オールスターズ 20－10 オークス
中京オールスターズ 20－4 TEAM NEXT

■ きブロック
海自桜錨会A 22－9 市工芸クラブ
埼玉フェニックス 20－12 海自桜錨会A
海自桜錨会A 17－7 桃陰ハンドボール
埼玉フェニックス 27－6 市工芸クラブ
桃陰ハンドボール 13－12 市工芸クラブ
埼玉フェニックス 22－6 桃陰ハンドボール

【女子交流型】

■ くブロック
HC名古屋・中部ドリームズ 8－2 あゆみクラブ
あゆみクラブ 7－0 拝島ブルーウッド
あゆみクラブ 12－7 モッピークラブ
武蔵野クラブ 9－3 HC名古屋・中部ドリームズ
武蔵野クラブ 18－5 モッピークラブ
瀬戸内レディース 13－4 HC名古屋・中部ドリームズ
武蔵野クラブ 22－3 拝島ブルーウッド
瀬戸内レディース 14－1 拝島ブルーウッド
瀬戸内レディース 19－3 モッピークラブ

■ けブロック
BABAR'S 12－5 スマイルGifu
ハミングバード 14－6 スマイルGifu
フェニーチェ 10－8 スマイルGifu
BABAR'S 9－4 F・J・C
BABAR'S 7－3 チーム荒川

ハミングバード 18－11 F・J・C
フェニーチェ 15－7 F・J・C
ハミングバード 12－9 チーム荒川
フェニーチェ 9－8 チーム荒川

【男子競技型】

▼1回戦

AZZURRO 20－7 徳山クラブ
部屋'S 16－10 待兼クラブ
GG'S 17－13 神楽坂フェニックス

▼2回戦

AZZURRO 棄権 WAKUNAGA
下松クラブアダルツ 21－11 部屋'S
オールドフェイス 11－7 IDBスポーツクラブ
NISSHIN 15－14 GG'S

▼準決勝

AZZURRO 17－16 下松クラブアダルツ
NISSHIN 15－13 オールドフェイス

▼3位決定戦

オールドフェイス 17－16 下松クラブアダルツ

▼決勝戦

AZZURRO 15－14 NISSHIN

【女子競技型】

▼1回戦

風見鶏ファミリー 7－6 かよちゃん'S
徳山クラブ 13－12 びわこLakers
小松クラブ 15－9 マミーズ
富山エンジェルズ 14－11 スズッキーズ

▼準決勝

風見鶏ファミリー 12－7 徳山クラブ
富山エンジェルズ 14－13 小松クラブ

▼3位決定戦

小松クラブ 18－6 徳山クラブ

▼決勝戦

富山エンジェルズ 12－10 風見鶏ファミリー

【11人制】

▼1回戦

HC名古屋ATF・A 5－3 葵アルバトロス
東京柿の木坂クラブ 8－1 横浜平沼マスターズ

▼5・6位決定戦

横浜平沼マスターズ 12－8 葵アルバトロス

▼準決勝

神楽坂フェニックス 10－4 HC名古屋ATF・A
HC名古屋ATF&中部ドリームス 6－3 東京柿の木坂クラブ

▼決勝戦

HC名古屋ATF&中部ドリームス 6－5 神楽坂フェニックス

スコアルーム③

第14回ジャパンオープンハンドボールトーナメント

男　子・開催期日：2009年8月8日(土)～10日(月)
　　　　会　　場：千葉県・国府台市民体育館ほか
女　子・開催期日：2009年8月8日(土)～11日(火)
　　　　会　　場：千葉県・香取市民体育館ほか

【男　子】

▼1回戦

三重ホンダクラブ(三　重) 44 (24－9、20－14) 23 つくば学園ハンドボールクラブ(茨　城)
宮城クラブ(宮　城) 39 (13－16、26－17) 33 きときとクラブ(富　山)
那覇西クラブ(沖　縄) 34 (19－16、15－15) 31 チーム群馬(群　馬)
HC大分(大　分) 42 (23－15、19－20) 35 HC奈良(奈　良)
HC岡山(岡　山) 27 (13－10、14－13) 23 セントラル自動車(神奈川)
ボンチフェローズ(大　阪) 41 (22－9、19－11) 20 二松クラブ(開催地)
各務原市ハンドボールクラブキャロット(岐　阜) 18 (8－8、10－9) 17 今治ハンドボールクラブ(愛　媛)
B.I.C(沖　縄) 37 (18－10、19－9) 19 花巻クラブ(岩　手)
熊本教員クラブ(熊　本) 34 (9－13、17－13) 32 氷見クラブ(富　山)
(5－4　延　長　1－2)
(2　7mTC　0)
埼玉教員クラブ(埼　玉) 27 (12－7、15－19) 26 HC神戸(兵　庫)
トヨタ自動車(愛　知) 44 (23－11、21－11) 22 野辺地クラブ(青　森)
FHC(福　岡) 27 (11－11、16－12) 23 徳山クラブ(山　口)
洛北クラブ(京　都) 27 (13－17、14－9) 26 エルムクラブ(北海道)
HC山口(山　口) 27 (14－9、13－12) 21 香川クラブ(香　川)
HC新潟(新　潟) 37 (16－13、21－14) 27 甲府クラブ(山　梨)
FOG(千　葉) 46 (22－7、24－9) 16 北村山クラブ(山　形)

▼2回戦

三重ホンダクラブ 33 (16－10、17－15) 25 宮城クラブ
HC大分 31 (13－15、18－12) 27 那覇西クラブ
ボンチフェローズ 36 (14－14、14－14 / 3－1、5－3) 32 HC岡山
B.I.C 22 (11－11、11－5) 16 各務原市ハンドボールクラブキャロット
埼玉教員クラブ 30 (14－11、16－16) 27 熊本教員クラブ
トヨタ自動車 31 (14－12、17－12) 24 FHC
HC山口 31 (18－11、13－8) 19 洛北クラブ
FOG 43 (18－10、25－14) 24 HC新潟

▼準々決勝

三重ホンダクラブ 28 (17－11、11－11) 22 HC大分
B.I.C 29 (12－9、17－13) 22 ボンチフェローズ
トヨタ自動車 36 (15－14、21－12) 26 埼玉教員クラブ
FOG 28 (13－8、15－13) 21 HC山口

▼準決勝

三重ホンダクラブ 31 (15－8、16－17) 25 B.I.C
FOG 29 (15－13、14－11) 24 トヨタ自動車

▼3位決定戦

B.I.C 29 (14－12、15－14) 26 トヨタ自動車

▼決勝戦

三重ホンダクラブ 29 (17－13、12－11) 24 FOG

【女　子】

▼1回戦

宮城クラブ(宮　城) 39 (13－16、26－17) 33 きときとクラブ(富　山)
香川銀行T·H(香　川) 35 (20－5、15－8) 13 シーコルズ(沖　縄)
野辺地クラブ(青　森) 25 (10－10、15－11) 21 昭和クラブ(開催地)
GET''S(兵　庫) 28 (14－12、14－12) 24 小松クラブ(石　川)
HC高山(岐　阜) 30 (15－8、15－9) 17 かながわガビアーノ(神奈川)
京都クラブ(京　都) 27 (16－14、11－11) 25 徳山クラブ(山　口)
HC東京VENUS(東　京) 35 (17－16、18－9) 25 氷見クラブ(富　山)
白梅三英芙会(岩　手) 28 (15－12、13－9) 21 北海道倶楽部(北海道)
HC.TSUKUBS(茨　城) 27 (16－9、11－12) 21 那覇西クラブ(沖　縄)

▼準々決勝

香川銀行T・H 59 (29－9、30－4) 13 野辺地クラブ
HC高山 27 (15－9、12－9) 18 GET"S
京都クラブ 35 (17－8、18－18) 26 HC東京VENUS
HC.TSUKUBA 32 (16－8、16－9) 17 白梅三英芙会

▼準決勝

香川銀行T・H 32 (18－5、14－11) 16 HC高山
HC.TSUKUBA 24 (14－12、10－11) 23 京都クラブ

▼3位決定戦

HC高山 25 (14－8、11－8) 16 京都クラブ

▼決勝戦

香川銀行T・H 33 (21－7、12－13) 20 HC.TSUKUBA

がんばれハンドボール10万人会「サポート会員」8月入会・継続会員

【宮　城】大河原　浩気　【福　島】影山　有理　【埼　玉】松本　隆栄、大塚　治恵、岡部　克則、今川　竹乃
【千　葉】鈴木　秀義　【東　京】山中　崇、山中　圭子、張江　真代、佐藤　佳子　【山　梨】天野　盛夫、栗原　富貴子　【愛　知】星野　真由美、鶴橋　広賢、笹野　邦雄、山下　悟史、金川　康夫、西村　香代子
【岐　阜】中島　明美　【大　阪】久保　幸子、白鳥　貴子、望月　滋乃、舟崎　智芳、亀石　正人
【兵　庫】新坂　智子、柿木　國夫　【岡　山】小林　恭大、小林　明友美　【広　島】両徳　良樹
【佐　賀】高橋　里江

＊掲載の順番は「所属都道府県」「郵便番号」の順です。

【10月の行事予定】

【会　議】
10月１日㈭　全国理事長会（新潟）
10月10日㈯　常務理事会（東京）

【大　会】
10月２日㈮〜６日㈫
第64回国民体育大会（新潟県・柏崎市）

HANDBALL CONTENTS Oct.

（登録チームの購読料は登録料に含む）

JAPAN、名品の系譜。

機能だけではない、風格のようなものがなければならぬ。
先端のテクノロジーでさらにパワーアップした機能を備えて
新しくなったスカイハンドJAPANシリーズ。
グリップ力に優れた国産ラバー採用のJAPANラバーソールと、
しなやかで通気性のあるエクセーヌを使ったカラーアッパーに
ソール前足部のベンチレーションホール等々。
インドアを制するミドルカットとローカットが揃った。

足入れ感を高めてクラシカルな名品復刻モデル。

スカイハンド® JAPAN-MT
THH514 ¥16,800（本体¥16,000）
- カラー：5093 ネイビーブルー×シルバー
- サイズ：23.0～29.0cm

名品スカイハンドSPのフォルムを受け継いだローカットモデル。

スカイハンド® JAPAN-S
THH515 ¥15,750（本体¥15,000）
- カラー：2300 レッド×パールホワイト
  5093 ネイビーブルー×シルバー
- サイズ：23.0～29.0cm

株式会社アシックス

アシックスシューズのストライプデザインはアシックスの商標であり、世界の多くの国で登録された商標です。 表示価格は消費税込みのメーカー希望小売価格です。( )内は消費税抜きの本体価格です。http://www.asics.co.jp 商品についてのお問い合わせは「アシックスお客様相談室」までどうぞ。03-3624-1814、06-6385-1155

世界の空へ、笑顔を乗せて。

(財)日本ハンドボール協会編 『ハンドボール』第五〇四号
昭和四十年六月七日 第三種郵便物認可
平成二十一年九月二十六日印刷 平成二十一年十月一日発行
東京都渋谷区神南一－一－一
電話 代表〇三－三四八一－二三六一
振替 〇〇一二〇－七－一〇一九三
編集兼発行人 川上憲太
定価 年間 三三〇〇円